

# 福岡県立大学すずかけ寮改修工事

図面リスト								
区分	図面番号	図面名称	区分	図面番号	図面名称	区分	図面番号	図面名称
建築工事	A- 1	改修工事等特記仕様書(1)	建築工事	A- 21	1階展開図-3	電気設備	E- 1	電気設備 1階平面図
	2	改修工事等特記仕様書(2)		22	2階展開図-1		2	電気設備 2階平面図
	3	改修工事等特記仕様書(3)		23	2階展開図-2		3	電気設備 3階平面図
	4	改修工事等特記仕様書(4)		24	3階展開図-1			
	5	付近見取図・配置図		25	3階展開図-2			
	6	仕上表		26	建具表-1			
	7	1階平面図		27	建具表-2			
	8	2階平面図		28	部分詳細図			
	9	3階平面図		29	南・北 外壁補修図			
	10	R階平面図		30	東 外壁補修図			
	11	南・北 立面図		31	西 外壁補修図	機械設備	M- 1	機械設備 1階平面図
	12	東 立面図					2	機械設備 2階平面図
	13	西 立面図					3	機械設備 3階平面図
	14	断面詳細図-1						
	15	断面詳細図-2						
	16	1階天井伏図						
	17	2階天井伏図						
	18	3階天井伏図						
	19	1階展開図-1						
	20	1階展開図-2						

熊平建築設計事務所

福岡県改修工事特記仕様書

1) 工事概要
1. 工事名称 福岡県立大学すずか寮改修工事
2. 工事場所 福岡県田川市伊田4395番地
3. 工事概要 外壁改修、屋上防水改修、内部改修
4. 別途工事
5. その他 (○印のついたものを適用する。)

2) 建築工事仕様
1. 標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「改修標準」)及び「建築改修工事監理指針(令和4年版)」による。

- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は ○印のついたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の「」内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。
(5) 形状寸法の単位は特記なきがぎり、ミリメートルとする。

章 項目 特記事項

1) 適用基準等
図面もしくは特記仕様書に記載なき場合は、以下の仕様書による。
(1) 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(以下「標準仕様書」又は「標準」という。)による。
(2) 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(3) 「公共土木建築改修工事標準仕様書 平成31年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(4) 「建築物解体工事共通仕様書 平成31年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修

適用仕様等、図面、特記仕様書に記載なきものについては、以下の基準、指針、要領、標準図等による。
(1) 「建築構造設計基準 平成30年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(2) 「建築工事標準詳細図 平成28年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(3) 「建築工事監理指針 令和4年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(4) 「建築改修工事監理指針 令和4年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(5) 「建築工事安全施工技術指針・同解説 平成27年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
(6) 「建設廃棄物処理指針」厚生労働省生活衛生局
(7) 「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び 厚生労働省労働基準局 石綿飛散塵埃い防止対策徹底マニュアル」環境省水・大気環境局
(8) 「建築物等の解体等工事における石綿ばく露防止マニュアル(新版)」建設業労働災害防止協会

(9) 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」国土交通省告示第468号
(10) 「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説(平成8年版)」建設大臣官庁官庁営繕部監修
(11) 「建築工事標準仕様書・同解説」日本建築学会
(12) 「建築工事の手引き」福岡県建築都市部編集
(13) 「解体工事の手引き」福岡県建築都市部編集
(14) 「植栽工事の手引き」福岡県建築都市部編集
(15) 「黒板、畳、換工事の手引き」福岡県建築都市部編集

全ての設計図書は相互に補完する。ただし設計図書間に相違がある場合、適用の優先順位は、次の(1)から(5)までのおとりとする。
(1) 質問回答書 (2)から(5)に対するもの
(2) 現場説明書
(3) 特記仕様書
(4) 別冊の図面
(5) 改修標準仕様書

上記の「1.適用基準等」及び「2.補足基準等」のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所にて常備し監督員の確認を得ること。

請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、受注時は契約締結後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、工事完成時は完成後10日以内に、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、「建設情報実績」を作成し、建築都市総務課契約室の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに提出しなければならない。また、同センター発行の「登録内容確認書」の写しを建築都市総務課に提出しなければならない。ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない。

問い合わせ先 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-11-28博多サンシティビル02F (一財)日本建設情報総合センター九州地方センター TEL 092-4111-3664 FAX 092-4111-3486 (1.1.4)

※現場説明書による。請負者は下請け契約を行う全ての工事で施工体制台帳を作成し、工事現場に据え置くとともに、その写しを監督員に提出すること。

概成工期(令和 年 月 日)
方式 ・発注者指定方式 ・任意着手方式
(余裕期間内は、請負者の責により現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、実工事期間には、準備・後片付け期間を含む。詳細は、契約特約による。)

工事日報は、工事記録を兼ねることができる。(原簿は撮影者が保管する。)
下記表領により撮影し、写真帳に説明を記入のうえ提出する。(1.2.4)

区分 分類 規格 部数 原簿の大きさ 備考
着工前 カラー ※サービス版 ※1部 24×36以上又は 24×36画像 撮影箇所は監督員との協議による

施工中 カラー ※サービス版 ※1部 24×36以上又は 24×36画像 撮影箇所は監督員との協議による

完成時 カラー ※サービス版 ※2部 24×36以上又は 24×36画像 撮影箇所は監督員との協議による

注記 撮影者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承認する撮影者(着工期、施工中)、監督員の承認する専門業者(完成時)とする。電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式としCD-Rで提出する。(200万画素以上300dpi以上)

各工区ごとに作業時の状況がわかるように黒板(工事名、撮影箇所、年月日等記入)、スケール等をあて撮影する。このほか、写真の撮影、整理等については国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編」による。

10. 電気保安技術者 ※適用する(工用電力設備の保安責任者が兼ねる。) ・適用しない (1.3.3)
11) 施工条件 ※現場説明書による (1.3.5)

12) 施工中の安全確保
建設基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによるほか、(1.3.7)
建設工事公衆災害防止対策要綱に従うとともに、建築工事安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

13) 建設リサイクル法
「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)の対象となる工事に該当(※現場説明書による ・する ・しない)

14) 建設副産物の処理について
※参考受入場所は現場説明書による (1.3.12)

建設副産物の処理について
資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所へ集積すること。
また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
工事に際しては、工事着手時に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利用実施書等を提出すること。

指定副産物(原則として再資源化施設へ持込むもの)
がれき類(コンクリート塊) 「建築物の解体等」に係る石綿飛散防止対策マニュアル(環境省水・大気環境局大気環境課)及び「石綿障害予防規則(平成17年7月1日施行)」に従い、収集、運搬、処分を行う。
(アスファルト塊) リサイクル原則ルール(平成18年6月12日策定)により実施する。
木くず 建設汚泥については、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン(平成18年6月12日 事務次官通知)」に従い、建設汚泥の再生汚泥として再生利用を推進する。

その他の廃棄物
廃プラスチック ガラス、陶磁器くず 廃石膏ボード 金属くず 繊維くず

特別管理産業廃棄物
「建築物の解体等」に係る石綿飛散防止対策マニュアル(環境省水・大気環境局大気環境課)及び「石綿障害予防規則(平成17年7月1日施行)」に従い、収集、運搬、処分を行う。
「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適正に保管できるように施設管理者に引き渡すこと。

建設基準法、建設リサイクル法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、土壌汚染対策法、資源有効利用促進法その他関係法令等に定めるところによるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。(1.3.11)

排出ガス対策型建設機械について
「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。(対象機種:バックホ、ブルドーザ、ドブカ、ブルドーザ(車輪式)、空気圧縮機(可動式)、油圧ユニット(油圧ハマ、アース)、油圧式鋼管圧入引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アース、オムロン、掘削機、バ、チェーンソー、ブルドーザ、地下連続壁施工機、全周転型、掘削機の基礎工事用機械のうちベ、スワッチとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの)、ロータリー、クレーン、振動ロー、キ、発電発電機(可動式(溶接用機を含む))但し、以上はディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載したものに限る。)
工事における振動被害防止要領の適用 振動計の設置については現場説明書による

※提出する ・提出しない

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、「同等のものとする場合は、監督員の承認を得る。」と特記されたものについては、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。福岡県認定リサイクル製品の使用製品名及び使用部位については、現場説明書によること。標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承認を受け、当該製品の指定工法によることができる。

環境への配慮について
国による環境物品等の調達に関する法律(グリーン購入法)により、環境負荷の低減できる材料を選定すること。
使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮すること。
工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。
指定品目、判断基準は「福岡県環境物品等調達方針」によること。

調査項目 調査範囲 調査方法 報告書・数量書
外壁劣化部 外壁全面 全面打診 ※2部
屋上防水劣化部 屋上防水全面 接触、目視 ※2部
※2部 ※2部

※既存部分の破壊を行った場合の補修方法は図面図示による。(1.5.2) (1.5.3)

適用工事
工事種別 技能検定職種 備考
・鉄筋工事 鉄筋施工
・コンクリート工事 型枠施工
・木工事 建築大工
○左官工事 左官
○塗装工事 塗装
・屋根及び樋工事 建築板金
○内装工事 内装仕上げ施工
・内装工事 表装
・金属工事 内装仕上げ施工(鋼製下地)
・補修工事 造園 請負額 300万以上

見本施工の実施箇所( ) 工種( ) (1.6.5)

室内空気中化学物質の濃度測定 ・行う ・行わない
ホルムアルデヒド測定の検体数 ・カ所
VOC測定の検体数 ・カ所
測定対象室
※現場説明書による ・図示
測定時期、測定位置、方法については、測定前に監督員に確認する。
測定方法は「揮発性有機化合物の室内測定要領」参照
※学校施設については、文部科学省「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日告示第60号)に基づきVOC等の測定を行う。(1.6.9)

22) 完成図等
種類及び提出形式は下記による (1.8.2)

種類 提出形式 部数
完成図 ※設計図一式 ※CADデータ(JWW又はDXF) ※PDFデータ(竣工図電子データ作成要領による) およびTIFデータ ※1部 ( )部
総合図 ※一式 ※CADデータ(JWW) ※1部 ( )部
施工図 ※複連全体 ※平面図 ※建具 ※屋根及び樋 ( )部
工作図 ※家具図 ( )部 ※2つ折り白焼き(適宜A1又はA3) ※CADデータ(JWW) ※1部 ( )部

(注) データの提出はCD-R、DVD-R又はUSBフラッシュメモリーに保存して提出すること。
「改修標準」1.8.3(1)の他、下記について必要事項を記入のうえ監督員に提出する。
建設大臣官庁官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」
提出部数 ※2部 ( )部
保全に関する説明書 ※建物概要及び内部仕上げ表 ※施工者一覧表 ※取り扱い説明書、メンテナンスについての注意事項 (1.8.3)

24. 設計GL ※図示による ・現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による

25) 過積載の防止
ダンプトラック等による工用資機材等の過積載を行わないこと。さし枠の装置又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に入出りさせないこと。

26. 解体等工事の範囲
解体等工事にかかる範囲は以下のとおり。
・建築物 ・地上部 ・地下部 ・杭 ( )
・付属構造物 ・浄化槽 ・貯油槽 ・杭 ( )
・電気設備 ・建物内配管配線 ・電気設備機器 ( )
・建物への引込線 ・敷地への引込線(廃止) ( )
・給排水設備 ・建物内配管配線 ・衛生設備機器 ( )
・建物への引込管 ・敷地への引込管(玉下し) ( )
・空調設備 ・建物内配管 ・空調設備機器 ・建物内風道 ( )
・ガス設備 ・建物内配管 ・ガス設備機器 ( )
・建物への引込管 ・敷地への引込管(廃止) ( )
・屋外付帯 ・門、門扉 ・塀、フェンス ・舗装 ( )
・植栽 ( )
・有害廃棄物の処理 ・廃PCB ・特定フロンガス ・廃石綿等 ( )
・什器、備品類等の撤去
・各種残留物等の撤去は下表による。 ※を標準とする。

区分 建物管理者 工事請負者
アスベスト含有建材 ※
オイルタンク内のオイル ※
ビッド(浄化槽、便槽)汚泥 ※
使用されていた酸、アルカリ、薬品等 ※
医療系特別管理産業廃棄物、放射性廃棄物 ※
フロン、ハロン使用機器 ※
PCB使用機器 ※

・敷地内障害物の調査 ・敷地内配管、配線の調査 ・地下水位の調査

27. 敷地に関する調査
28) 原形復旧
29. 設備工事との取合い
※施工区分表による
・施工範囲は下記による
※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強
※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ( )

30. 風速及び地表面粗度区分
風速 ( ) 32 m/秒 ( ) 34 m/秒 ( )
地表面粗度区分 (Ⅰ) (Ⅱ) (Ⅲ) (Ⅳ) (各章共通)

31) 接着剤
ホルムアルデヒド放散等級(※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・F☆☆) (各章共通)

32. 総合図での調整
各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承認を受ける。
総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別途発注工事業者の情報などをすべて盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。
総合図の調整は、建築工事の請負者が行い、設備工事・その他の請負者がそれに協力する。

33) 参考図の取り扱い(メカ仕様の図面)
参考図の製品等の使用にあたっては、参考図以外の形状等に多少相違がある製品でも同等品以上であれば使用できる。

34) 竣工後の調査
竣工後(※2 ・1)年以内に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。

2) 仮設工事
1) 足場その他
手すり先行足場について
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、手すり、中柱及び両面幅木の機能を有するものを設置しなければならない。
なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場 ※脚立、足場板等 ( ) (2.2.1)
外部足場 ・枠組足場 ○くさび緊結式足場 ・単管足場 ( )
防護シートによる養生 ※行う ・行わない
材料・撤去材等の運搬 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 (表2.2.1)

既存部分の養生 ※ビニールシート等 ・合板 ( ) (2.3.1)
固定家具の養生 ・行わない ・行う(図示)
既存家具の養生 ※ビニールシート等 ( )

仮設間仕切等の種別 (2.3.2) (表2.3.1)

種別 下地 仕上材(厚さ) 充てん材 塗装 設置箇所
・A種 ・軽量鉄骨 ・合板(※9.0・12.0) 厚さ mm ※無し
・B種 ・木下地 ・石膏ボード(※9.5) ※無し
・C種 単管下地 防湿シート ※無し
仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し
・鋼製扉 ( )程度

備考 承認覧

4) 監督員事務所 ※設ける ○設けない (2.4.1)
※構内に新設する。( )10m程度)
・既存建物内の一部を使用する。
監督員事務所に設ける設備、備品については監督員との協議による。

5) 工用水
6) 工用電力
7) 総合仮設計図書
8) 危険防止
仮囲い等 ※設ける ・設けない
設置方法 ※成形鋼板(H=2.0m) ・垂鉛引鉄板(H= )m) ・シート張り
・ロープ張り ( )
・ハンガー(W= )m) ・パネル(W= )m)
垂直防護施設 ・メッシュシート(・防炎Ⅰ類・防炎Ⅱ類) ・防音シート(防炎Ⅰ類同等)
・付付き金網 ・アルミ防音パネル ( )
水平防護施設 ・防護柵(朝顔) ・ダブルネット
防護施設等取付足場 ・単管一本足場 ・枠組本足場(W= )m) ( )
設置範囲 ※図示による ・監督員の指示による
設置期間 ※工事期間中 ・監督員の指示による

9. 構台
養生構台 ・設置する(図示による) ・設置しない
乗入れ構台 ・設置する(幅員 m、長さ m) ・設置しない

10) 工事表示板等
11) 工事車両の出入口
工事車両の出入口では、一般行人及び一般車両の安全確保に努めること。
交通誘導員 ○配置する( )適宜) ・配置しない

3) 1) 改修方法の種類及び工程 (表3.1.1)
2. アスファルト防水 (表3.1.2) (表3.3.2.3) (表3.1.1) (表3.3.3~10)

防水改修工法の種類及び工程については「改修標準」表3.1.1による。(表3.1.1)
シーリング改修工法の種類及び工程については「改修標準」表3.1.2による。(表3.1.2)

3) 1) 改修方法の種類及び工程 (表3.1.1)
2. アスファルト防水 (表3.1.2) (表3.3.2.3) (表3.1.1) (表3.3.3~10)

防水改修工法種別 新規防水層の種別 施工箇所
・PIB工法 ・B-1 ※ B-2
・PIBI工法 ・T1BI工法 ・B1-1 ※ B1-2
・P2AI工法 ・A1-1 ※ A1-2
・P2A工法 ・A-1 ※ A-2
・M4C工法 ・C-1 ※ C-2
・M3D工法 ・POD工法 ・D-1 ※ D-2
・PODI工法 ・M3DI工法 ・DI-1 ※ DI-2
・M4DI工法
・PIE工法 ・P2E工法 ・E-1 ※ E-2
(保護層は図示による)

アスファルトの種類 ※3種 (3.2.2) (3.3.2)
M3D、POD、PODI、M3DI、及びM4DI工法の脱気装置 ※設ける ・設けない (3.3.3)
断熱工法の断熱材 (表3.3.2)
※押出ポリスチレンフォーム断熱材3種B A(スチレン層付き) 厚さ(mm) ※25 ( )
・図示による

立上り部の保護材 (表3.3.2)
・乾式保護材 ※押出成型セメント板(厚さ15mm)
・れんが ※JIS R 1250Iによるもの
・市販品のれんが又は市販品のれんががコンクリートブロック(見え隠れ部分)

・コンクリート 仕上りの平たんさ ※a種 ・b種 ・c種 (表8.1.5)

3) 改質アスファルトシート防水 (3.4.2.3) (表3.1.1) (表3.4.1~3)

防水改修工法の種別 新規防水層の種別 厚さ(mm) 施工箇所
・M4AS工法 ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2
・M3AS工法 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1
・POAS工法 ・AS-J3
・M3AS1工法
・M4AS1工法 ・AS1-T1 ・AS1-J1
・POAS1工法

M3AS1、M4AS1及びPOAS1工法の防湿用シート ・設ける ・設けない (表3.4.3)
M3AS、POAS、M3AS1、M4AS1及びPOAS1の脱気装置 ※設けない ・設ける (3.4.3)

(3.5.2.3) (表3.1.1) (表3.5.1.2)

防水改修工法の種別 新規防水層の種別 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類
・POS工法 ・S-F1 ・S-F2 ・シルバー ※非歩行
・S4S工法 ・S-M1 ・S-M2 ・カラー
・S-M3 ・製造メーカー仕様

仕上げ塗料の使用量等 ※シートの製造所の仕様による ( )
脱気装置 ・設ける ・設けない (3.5.3)
目地処理 ※図示による ( ) (3.5.4)

5) 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1)

施工箇所 改修工法種別 新規防水層種別 仕上げ塗料塗り
・POX ※ X-1 ※カラー ・シルバー
・L4X ※ X-2 ※カラー ・シルバー

脱気装置 ※図面図示による ・種類 ( ) ・設置数量 ( )

6) シーリング
シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シール材の種類
・幅幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類 「改修標準」表3.7.1による。(表3.7.1)
接着性試験 ※簡易接着性試験 (3.7.8)
・引張接着性試験(部位)

工事名称
福岡県立大学すずか寮改修工事

福岡県建築都市部営繕設備課
福岡市博多区東公園7番7号

図面名称
改修工事特記仕様書(1)
尺度 1/100
図面番号
A-01

Table with 2 columns: 防水改修工事 (Waterproofing Renovation Work) and 保証年限 (Warranty Period). It details material specifications for aluminum and other waterproofing, and lists warranty periods for various waterproofing methods.

Table with 2 columns: 施工調査数量 (Construction Survey Quantity) and 調査のための破壊部分の補修 (Repair of Damaged Parts for Survey). It describes the survey scope, methods, and repair procedures for exterior wall waterproofing.

Table with 2 columns: 調査のための破壊部分の補修 (Repair of Damaged Parts for Survey) and 仕上げ (Finishing). It details repair methods for waterproofing and provides specifications for finishing materials like tiles and grout.

Table with 2 columns: 1. 施工調査数量 (1. Construction Survey Quantity) and 2. 調査のための破壊部分の補修 (2. Repair of Damaged Parts for Survey). It details survey methods and repair procedures for exterior wall waterproofing.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 1. 施工調査数量 (1. Construction Survey Quantity) and 2. 調査のための破壊部分の補修 (2. Repair of Damaged Parts for Survey). It details survey methods and repair procedures for exterior wall waterproofing.

Table with 2 columns: 1. 施工調査数量 (1. Construction Survey Quantity) and 2. 調査のための破壊部分の補修 (2. Repair of Damaged Parts for Survey). It details survey methods and repair procedures for exterior wall waterproofing.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

Table with 2 columns: 4. 欠損部改修方法 (4. Repair Method for Damaged Parts) and 5. 浮き部改修方法 (5. Repair Method for Lifting Parts). It details repair methods for damaged and lifting parts of exterior wall tiles.

No. 3 令和3年度改訂 (R3.5)

10. 重量シャッター
機能による種類
シャッターケース (防火・防煙以外の場合)
閉閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) 電源 ※ V kw以下 (過電流保護装置付)

6 ① 既存床の撤去並びに下地補修
② 接着剤
③ ビニル床シート張り
材種 種類 色柄 厚さ 工法 特殊機能 備考

4. ビニル床タイル張り
材種 種類 形状 厚さ 色柄
※コンポジションビニル床タイル (半硬質)
※コンポジションビニル床タイル (硬質)

5. ビニル幅木
6. カーペット敷き
織りじゅうたん
種類 織り方 バイルの形状 色柄 備考

7. 合成樹脂塗床
種類 仕上げの種類
弾性ウレタン樹脂系
塗床材

9. フローリング張り
種類 樹種 工法及び寸法 厚さ・大きさ (mm) 塗装

11. 畳敷き
※別添畳工事特記仕様書による

12. せっこうボードその他ボード及び合板張り
材種 種別 張り方 厚さ 備考

14. タイル張り
材種 表面の品質 厚さ 工法

15. 断熱材
材種 種類 厚さ
※2種b-A
※3種b-A (接地部分)

16. 吸音材
材種 品質・規格 厚さ

17. ポリスチレンフォーム床下地材
種類 厚さ
※40・65・80
※80・95

1. ステンレスの表面仕上げ
種類 施工箇所 備考

2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
種類 施工箇所 備考

3. 鉄鋼の亜鉛メッキ
種類 施工箇所 備考

6. 金属成形板張り
材種 製法 材種 寸法 (mm) 厚 (mm) 表面処理

7. 手すり及びタラップ
種類 材料の種別 表面処理

6 ① フリーアクセスフロア
施工箇所 構法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考

2. 可動間仕切 (既製間仕切)
構造形式 パネル部の総厚さ 表面材種 (厚さ) 仕上げ

3. 移動式間仕切 (スライディングドア)
表面板 仕上げ パネル厚 遮音性

4. トイレブース
仕様
パネル部 材
付属金物
足形状
形式
金属製材種
形式

7. 床目地棒
8. 黒板及びホワイトボード
9. 鏡
10. 表示

11. 煙突ライニング
種類 材種 寸法 取付方法

12. ブラインド
形式 仕様型ブラインド (JIS A 4801) 機型ブラインド

13. ロールスクリーン
種類、品質等

14. カーテン及びカーテンレール
施工箇所 きれ地名称品質 ひだの種類 形式 閉閉装置

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス
材種 ※アルミニウム製 (既製品)
色彩 ※シルバー・着色

20. 鋼製書架及び物品棚
種類 規格等 耐荷重による種類

24. 視覚障害者用誘導床材
施工箇所 材質 寸法 備考

25. 既製フェンス
26. かざ箱
27. 敷地境界線
28. 屋外掲示板
29. 車止め支柱
30. 新聞受・郵便受
31. 木製家具
32. 収納・収納家具

33. 施工中の安全管理
接着剤及び塗料の配付にあたっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間を取るものとする。

7 ① 材料
② 塗装業者
③ 下地調整

工事名称
福岡県立大学すずかけ寮改修工事
改修工事特記仕様書 (3)
尺度
日付
図面番号
A-03

Table with 4 columns: 塗装改修工事, 4. 錆止め塗料塗り, 5. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP), 6. クリヤラッカー塗り (CL), 7. フタル酸樹脂エナメル塗り (FE), 8. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD), 9. 耐候性塗料塗り (DP), 10. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G), 11. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP), 12. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T), 13. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC), 14. オイルステイン塗り (OS), 15. 木材保護塗装塗り (WP), 16. 屋内水系塗料塗り

Table with 4 columns: 9. コンクリートの強度, 10. コンクリートの種類, 11. スランブ, 12. 普通コンクリートの割合, 13. セメントの種類, 14. 打放し仕上げの種類, 15. コクリートの仕上りの平たんさ, 16. モルタル及びグラウト材, 17. 鉄骨製作工場, 18. 鋼材の種類, 19. 高力ボルト, 20. 溶接部の検査, 21. スタッド, 22. スタッド溶接後の試験, 23. 耐火被覆の種類及び性能, 24. スリット, 25. あと施工アンカー

Table with 10 columns: 工事内容, 建築, 外構, 植栽, 電気, 電話, 昇降, 給衛, 空調, ガス, 黒板, 備考. Includes sections for 機器の基礎, 開口部, 点検口, ガラリ, 換気扇, 排水フード, 換気扇の取付枠及びアルミパネル, 換気扇, 流し台, 防油堤, 床下水槽のマンホール蓋, 屋外配水管, 雨水貯槽, 身障者用便所すり, はめ込み形洗面器用カウンター (前板共), ガスボンベ転倒防止用の鎖, パッケージエアコンの配線, ガス漏れ探知機 (遮断弁連動), O.Aフロア用配線器具, 電気錠, エレベーター出入口三折枠 (金属製), シャワーユニット (バスユニット), ガス給湯器リモコン用ケーブル, ガス給湯器電線管及びボックス, 畳工事, 黒板工事, 植栽工事.

施工区分表

(O印を塗りつぶしたものを適用する)

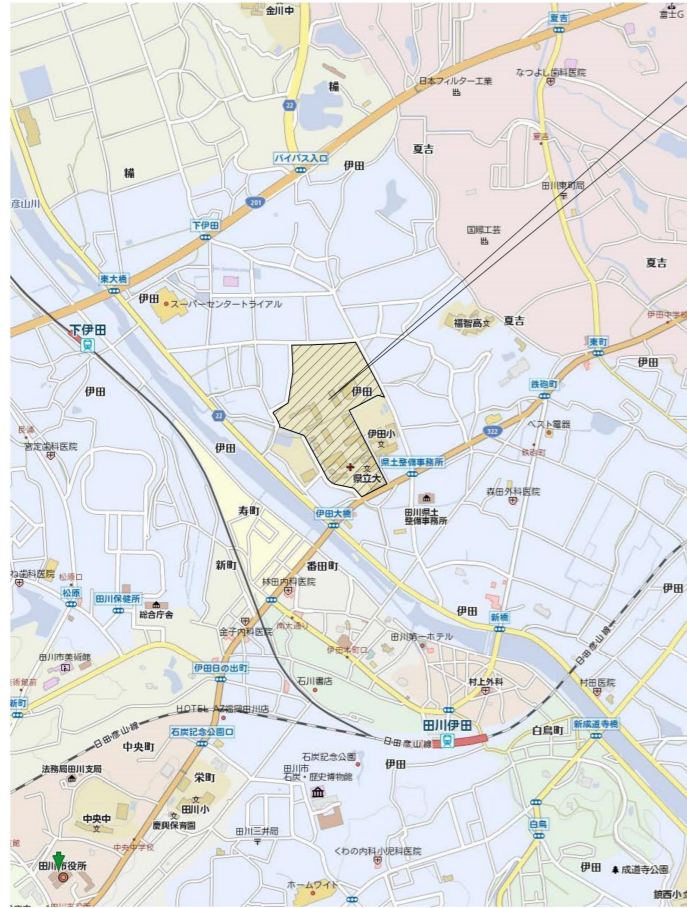
電気と十分協議すること

機械と十分協議すること

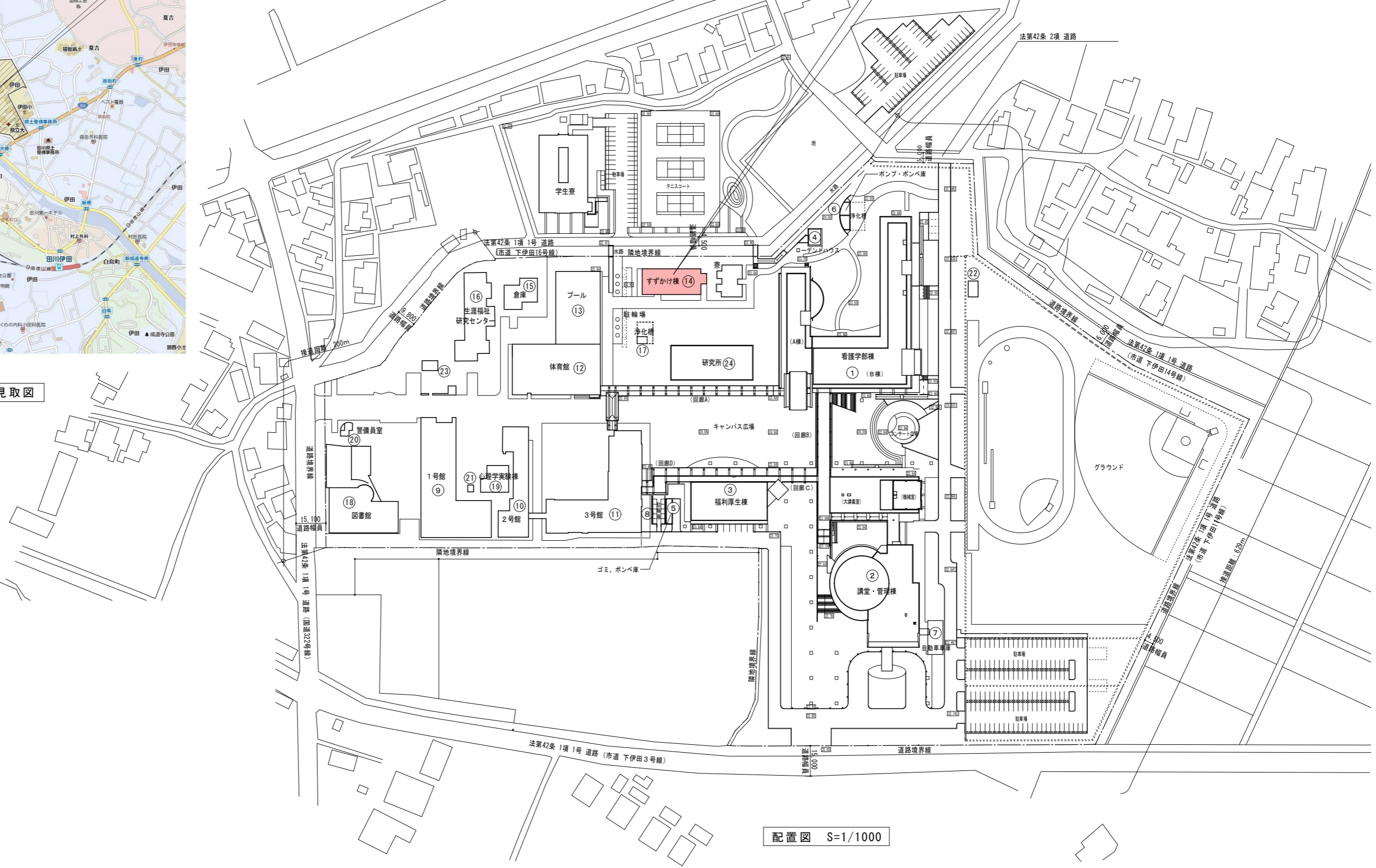
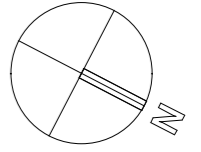
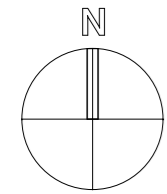
Table with 2 columns: 工事名称 (福岡県立大学すずかけ寮改修工事), 図面名称 (改修工事特記仕様書(4)), 図面番号 (A-04).

工事場所 福岡県田川市伊田4395番地

工事建物



付近見取図



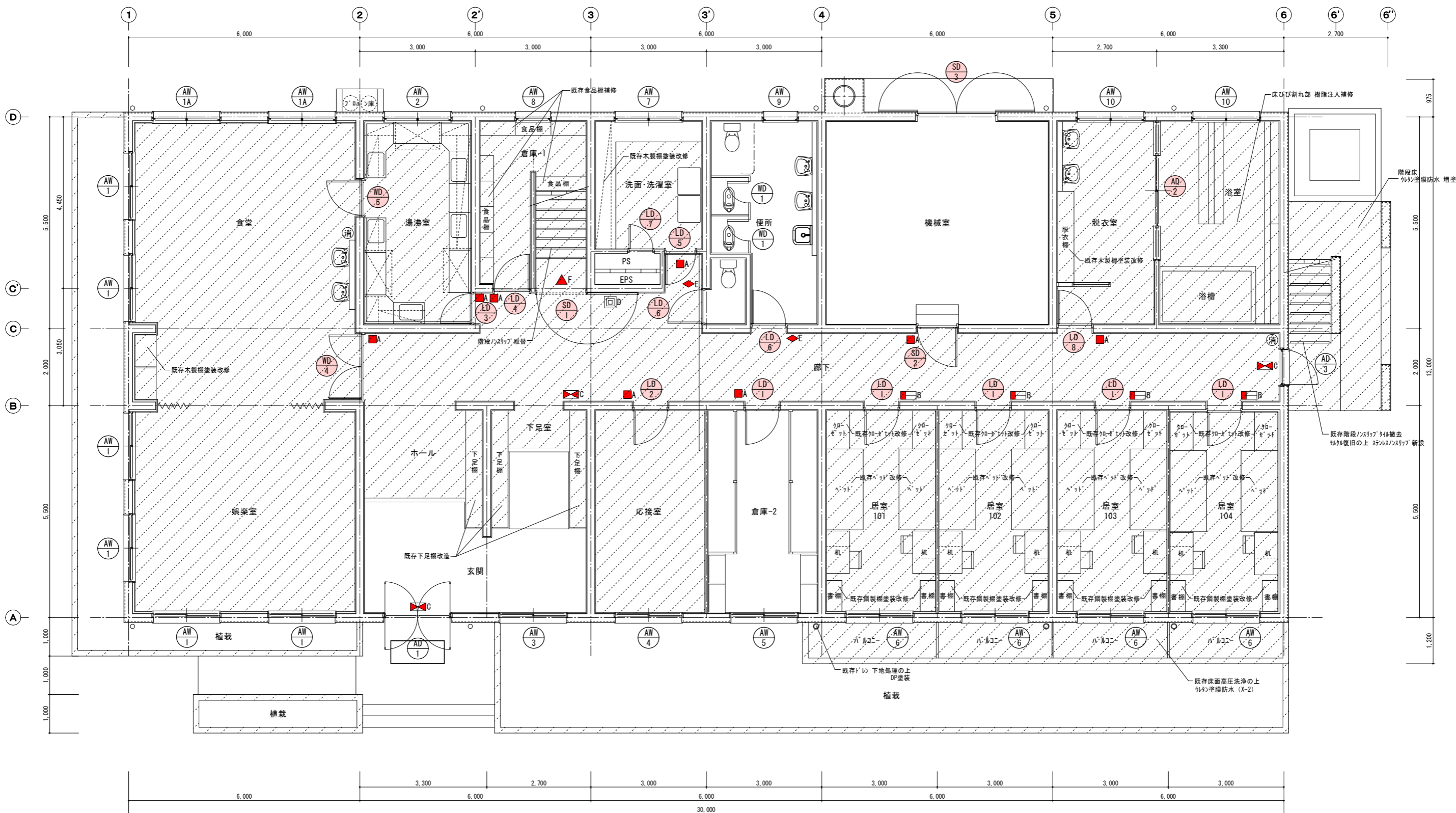
配置図 S=1/1000

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図 付近見取図・配置図		縮 1/1000:1/2000		A-05 全枚	
福岡県田川市伊田4395番地		名		尺		NO. 31	
熊平建築設計事務所		熊谷 隆司		制作日 R7.8.		熊平 一郎	
熊平建築設計事務所		熊谷 隆司		制作日 R7.8.		熊平 一郎	

I. 外部仕上表							
屋根	コンクリート下地ウレタン塗膜防水 (X-2) → 高圧洗浄の上 ウレタン塗膜防水増塗	外壁	コンクリート打放 複層塗材E吹付 → 高圧洗浄の上 可とう系複層塗材E吹付	建具 (扉)	鋼製建具 → 下地調整の上 DP塗装		
	コンクリート下地 露出アクリル樹脂防水 → 高圧洗浄の上 アクリル樹脂防水保護塗材塗		コンクリート打放 複層塗材E吹付 → 高圧洗浄の上 可とう系複層塗材E吹付		スチールシャッター → 既存のまま		
庇		巾木	コンクリート打放 複層塗材E吹付 → 高圧洗浄の上 可とう系複層塗材E吹付	建具 (窓)	アルミ製建具 (シルバー) → 既存のまま		
軒裏	コンクリート打放 外装薄塗材E吹付 → 高圧洗浄の上 外装薄塗材E吹付						
壁	塩化ビニル管 VP100φ → 下地調整の上 DP塗装						

特記事項		防火材料及び不燃材料等 認定番号
◆シロカス (熱安定性・VOC等) 対策により、使用材料は全て規定放散等級 3 (F☆☆☆☆) とする。		・石膏ボード t = 9.5mm 準不燃 QM-9828
◆接着剤：現場及び工場製作加工 (家具等) における接着剤は、		・石膏ボード t = 12.5mm 不燃 NM-8619
熱安定性を含まないもので、シロカの放散量の極力少ないものを使用する。		・防水石膏ボード t = 9.5mm 準不燃 QM-9826
◆加工用接着剤及び工場制作・現場施工に使用する接着剤は、F☆☆☆☆とする。		・防水石膏ボード t = 12.5mm 不燃 NM-9639
◆内部塗装材料は、F☆☆☆☆とする。		・化粧石膏ボード t = 9.5mm 準不燃 QM-9824
◆床シート貼：環境対応型ビニル床シート (VOC<揮発性有機化合物>発生量抑制型) とする。		・繊維混入けい酸カルシウム板 t = 6.0、8.0mm 不燃 NM-8578
◆色柄等は色見本提出のうえ決定とする		・化粧けい酸カルシウム板 t = 6.0mm 不燃 NM-8579
		・ビニルクロス貼 (不燃下地) 不燃 NM-9913他、大臣認定材料とする
		・ビニルクロス貼 (準不燃下地) 準不燃 QM-9401他、大臣認定材料とする

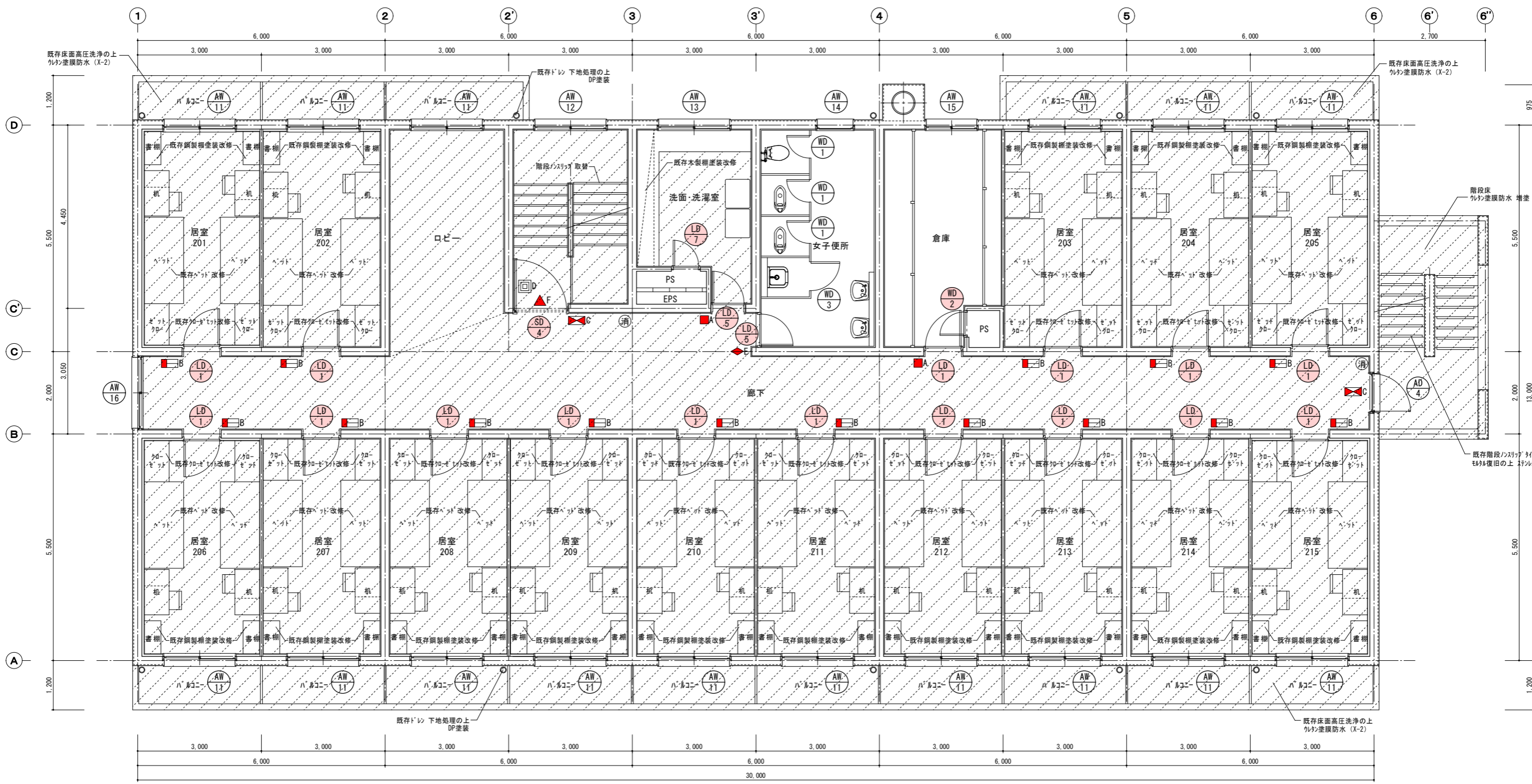
II. 内部仕上表									
		床	巾木	壁 (腰壁)	天井	廻縁	天井高	備考	
1階	玄関	既存 改修	磁器質タイル 既存のまま	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.610	木製棚 アクリル製掲示板(1200×900)新設、既存木製棚SOP塗装	
	ホール	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.470	木製下足棚、アクリルボード、名札掛 既存木製下足棚取替・表面アクリル板張、既存アクリルボード撤去・アクリルボード(1800×900)新設、既存名札掛撤去・新設(60人用)	
	下足室	既存 改修	モルタルEP塗装 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.470	木製下足棚 既存木製下足棚取替・表面アクリル板張	
	廊下	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.470	木製黒板、掲示板 木製黒板・掲示板撤去、アクリル製掲示板新設、消火器ケース設置型新設	
	音楽室・食堂	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル下地ビニルクロス張、石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	2.470	木製棚、木製カウンター、化粧鏡 既存木製棚・木製カウンター撤去、化粧鏡撤去、化粧鏡新設、消火器ケース設置型新設	
	湯沸室	既存 改修	モルタルEP塗装 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	陶器質タイル張、一部モルタル塗EP-G塗装 タイル張：既存のまま、一部既存モルタル下地調整の上 EP-G塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.470	アクリル流し台・調理台、ガス台、木製吊戸棚 既存のまま (清掃)	
	倉庫-1	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	ビニル巾木 H=60 既存撤去の上 巾木H=60	モルタル下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	コンクリート打放 ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	2.920~1.660	木製棚 既存木製棚扉建付調整 (アクリル取替)	
	洗面・洗濯室	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP-G塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.375	人研ぎ流し、木製棚、化粧鏡 既存人研ぎ流し清掃、既存木製棚塗装、既存化粧鏡撤去・化粧鏡新設、アクリル製掲示板(1200×900)新設	
	応接室	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル下地ビニルクロス張、石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	2.470	木製カウンター 既存木製カウンター撤去	
	倉庫-2	既存 改修	モルタル金コテ仕上 既存のまま	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.375	木製棚 既存のまま	
	居室	既存 改修	ビニル床シート張 (木目調) 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 木目調ビニル床シートt=2.0張 (アクリル木目柄 田島メソック同等)	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル下地ビニルクロス張、石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	2.375	木製ローテーブル、机、椅子、鋼製書棚、木製カウンター、7x7x天吊カウンター 既存木製ローテーブル撤去・塗装・ベント天量表替え、既存鋼製書棚塗装、既存木製カウンター撤去、7x7x天吊カウンター撤去・新設	
	便所	既存 改修	ウレタン塗床 既存のまま		腰：陶器質タイル張、上部：モルタル塗EP塗装 既存のまま	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.375		
	機械室	既存 改修	モルタル金コテ仕上 既存のまま		腰：モルタル金コテ仕上 上部：ロックウール吹付 既存のまま	ロックウール吹付 既存のまま	3.370		
	脱衣室	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP-G塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	樹脂製浴室天井材 既存のまま	2.375	木製棚、化粧鏡 既存木製棚撤去、化粧鏡撤去・化粧鏡新設	
	浴室	既存 改修	磁器質タイル張 既存のまま (ひび割れ部：樹脂注入補修)		陶器質タイル張 既存のまま	樹脂製浴室天井材 既存のまま	2.495~2.445	化粧鏡 既存化粧鏡撤去・化粧鏡新設	
	2階	ロビー	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.250	アクリル製掲示板(1200×900)新設
		廊下	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.250	アクリル製掲示板(1200×900)新設、消火器ケース設置型新設
		居室	既存 改修	ビニル床シート張 (木目調) 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 木目調ビニル床シートt=2.0張 (アクリル木目柄 田島メソック同等)	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル下地ビニルクロス張、石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	2.440	木製ローテーブル、机、椅子、鋼製書棚、木製カウンター、7x7x天吊カウンター 既存木製ローテーブル撤去・塗装・ベント天量表替え、既存鋼製書棚塗装、既存木製カウンター撤去、7x7x天吊カウンター撤去・新設
洗面・洗濯室		既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP-G塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.250	人研ぎ流し、木製棚、化粧鏡 既存人研ぎ流し清掃、既存木製棚塗装、既存化粧鏡撤去・化粧鏡新設、アクリル製掲示板(1200×900)新設	
女子便所		既存 改修	ウレタン塗床 既存のまま		腰：陶器質タイル張、上部：モルタル塗EP塗装 既存のまま	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.250		
倉庫		既存 改修	モルタル金コテ仕上 既存のまま	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.440	木製棚 既存のまま	
3階	ロビー	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.250	アクリル製掲示板(1200×900)新設	
	廊下	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	2.250	アクリル製掲示板(1200×900)新設、消火器ケース設置型新設	
	居室	既存 改修	ビニル床シート張 (木目調) 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 木目調ビニル床シートt=2.0張 (アクリル木目柄 田島メソック同等)	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル下地ビニルクロス張、石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	石膏ボード下地ビニルクロス張 既存ビニルクロス撤去・下地調整の上 ビニルクロス張 (抗菌・消臭 7x7x同等)	2.400	木製ローテーブル、机、椅子、鋼製書棚、木製カウンター、7x7x天吊カウンター 既存木製ローテーブル撤去・塗装・ベント天量表替え、既存鋼製書棚塗装、既存木製カウンター撤去、7x7x天吊カウンター撤去・新設	
	洗面・洗濯室	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP-G塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.250	人研ぎ流し、木製棚、化粧鏡 既存人研ぎ流し清掃、既存木製棚塗装、既存化粧鏡撤去・化粧鏡新設、アクリル製掲示板(1200×900)新設	
	女子便所	既存 改修	ウレタン塗床 既存のまま		腰：陶器質タイル張、上部：モルタル塗EP塗装 既存のまま	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.250		
	倉庫	既存 改修	モルタル金コテ仕上 既存のまま	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	ケイカル板張の上EP塗装 既存下地調整の上EP-G塗装	2.400	木製棚 既存のまま	
共通	階段室	既存 改修	ビニル床シート張 既存ビニル床シート撤去・下地調整の上 ビニル床シートt=2.0張	モルタルEP塗装 既存下地調整の上EP塗装	モルタル塗EP塗装 既存下地調整の上EP塗装	化粧石膏ボード張の上EP塗装、アクリル製：コンクリート打放外装薄塗材E 既存下地調整の上EP塗装及び外装薄塗材E吹付	-		



1階平面図 S=1/50

▨ : 改修部分を示す

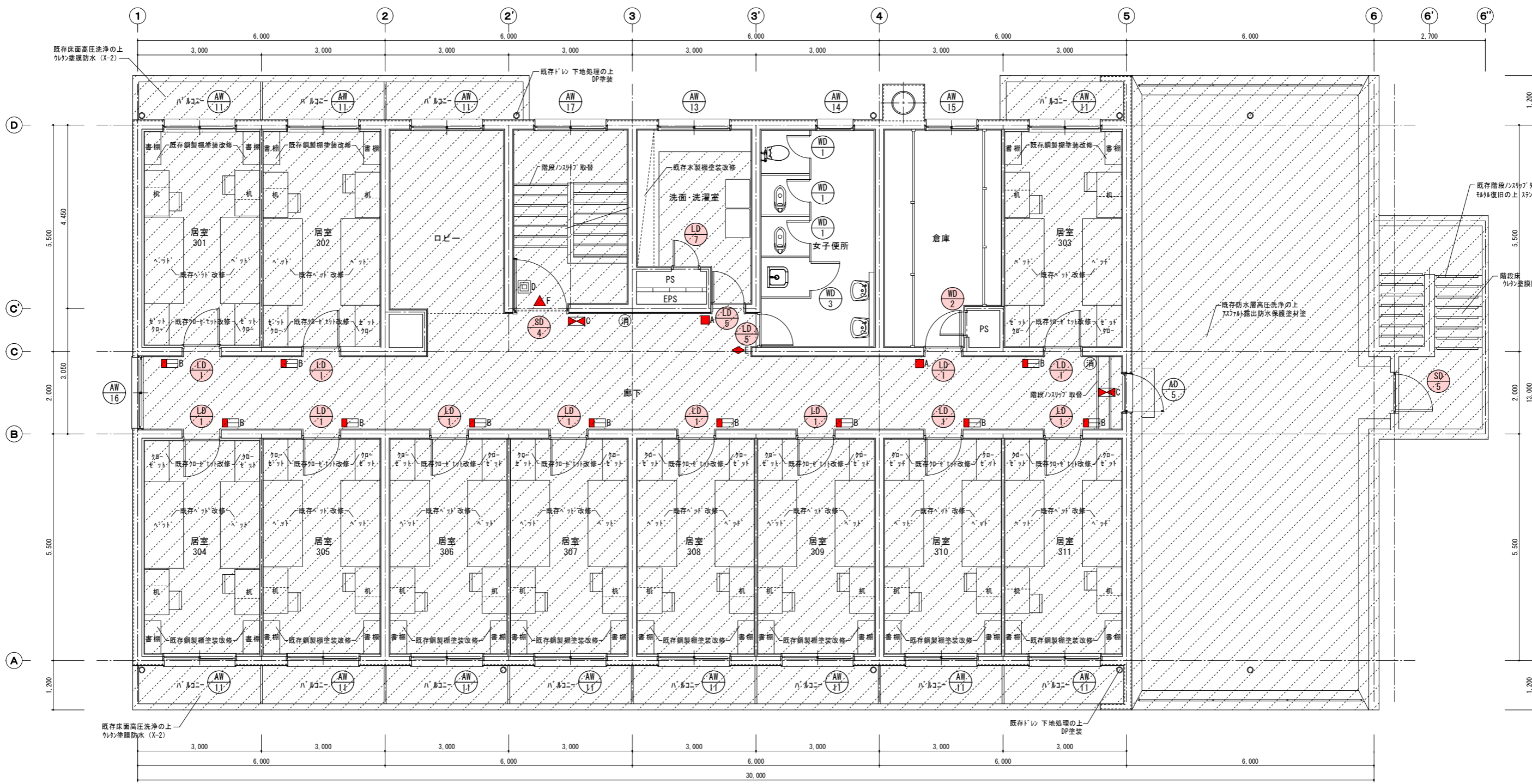
<p>凡例</p> <p>LD 1 : 改修建具を示す</p>	<p>■ A : 新設室名サインAを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ B : 新設室名サインBを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ C : 新設室名サインCを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ D : 新設室名サインDを示す (既存同位置サインは撤去)</p>	<p>▲ F : 新設室名サインEを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>◆ E : 新設室名サインFを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>消 : 新設消火器ケース据置型を示す        ケース: SK-FEB-F6220C、操作表示: SK-FP-1        (神栄ホ-ムリエイト同等)</p>	<p>福岡県立大学すずかけ寮改修工事</p> <p>福岡県田川市伊田4395番地</p> <p>図名: 面1階平面図</p> <p>縮尺: 1/50:1/100</p> <p>熊平建築設計事務所 (熊平建築士事務所 福岡県登録第1-30001号 一級建築士98619号)</p> <p>田川市大字伊田3501-3 電 0947-42-1090 熊谷 平一郎</p>	<p>図名: 面1階平面図</p> <p>縮尺: 1/50:1/100</p> <p>図号: A1:A3</p> <p>図名: A-07</p> <p>全枚</p> <p>NO. 31</p>
---------------------------------	---	--	--	--



2階平面図 S=1/50

：改修部分を示す

<p>凡例</p> <p>LD 1 : 改修建具を示す</p>	<p>■ A : 新設室名サインAを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ B : 新設室名サインBを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ C : 新設室名サインCを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ D : 新設室名サインDを示す (既存同位置サインは撤去)</p>	<p>▲ F : 新設室名サインEを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>◆ E : 新設室名サインFを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>消 : 新設消火器ケース据置型を示す        ケース: SK-FEB-F6220C、操作表示: SK-FP-1        (神栄ホムリエイト同等)</p>	<p>福岡県立大学すずかけ寮改修工事</p> <p>福岡県田川市伊田4395番地</p> <p>図 面 2階平面図</p> <p>縮尺 1/50:1/100</p> <p>熊平建築設計事務所 熊平 幸一郎</p>	<p>図 面 A1:A3</p> <p>建築</p> <p>A-08/全枚</p> <p>NO. 31</p>
---------------------------------	---	---	--	---



3階平面図 S=1/50

斜線部分を示す

<p>凡例</p> <p>LD 1 : 改修建具を示す</p>	<p>■ A : 新設室名サインAを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ B : 新設室名サインBを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ C : 新設室名サインCを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>■ D : 新設室名サインDを示す (既存同位置サインは撤去)</p>	<p>▲ F : 新設室名サインEを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>◆ E : 新設室名サインFを示す (既存同位置サインは撤去)</p> <p>消 : 新設消火器ケース据置型を示す        ケース: SK-FEB-F6220C、操作表示: SK-FP-1        (神栄ホムリエイト同等)</p>	<p>福岡県立大学すずかけ寮改修工事</p> <p>福岡県田川市伊田4395番地</p> <p>図名: 面3階平面図</p> <p>縮尺: 1/50, 1/100</p> <p>熊平建築設計事務所</p> <p>熊谷 平一郎</p>	<p>図名: 面3階平面図</p> <p>縮尺: 1/50, 1/100</p> <p>熊平建築設計事務所</p> <p>熊谷 平一郎</p> <p>NO. 31</p>
---------------------------------	---	---	--	---



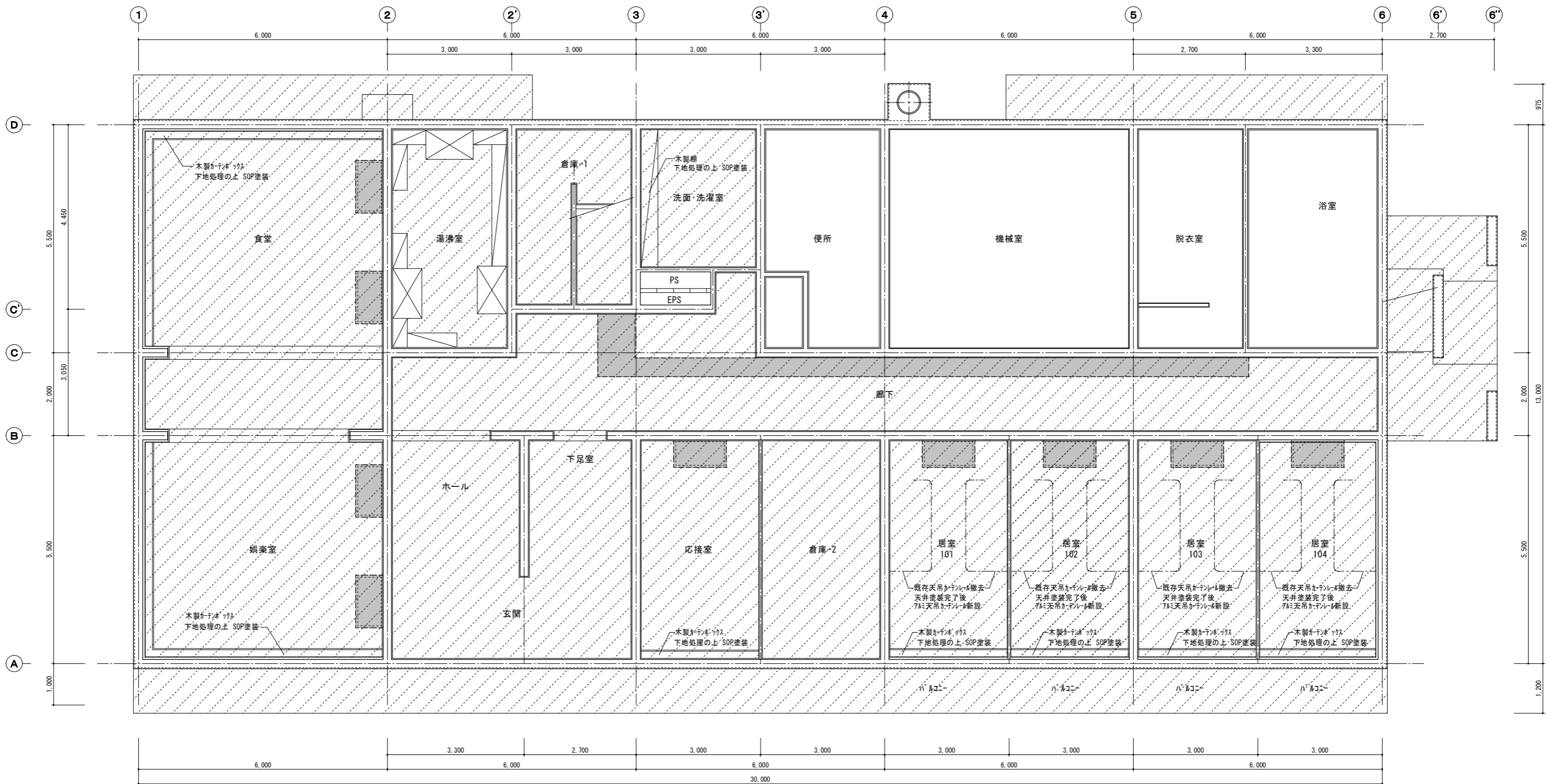












1階天井伏図 S=1/50

- : 改修部分を示す
- : 既存ホ-ド仕上撤去、設備配管・配線処理後同材復旧を示す

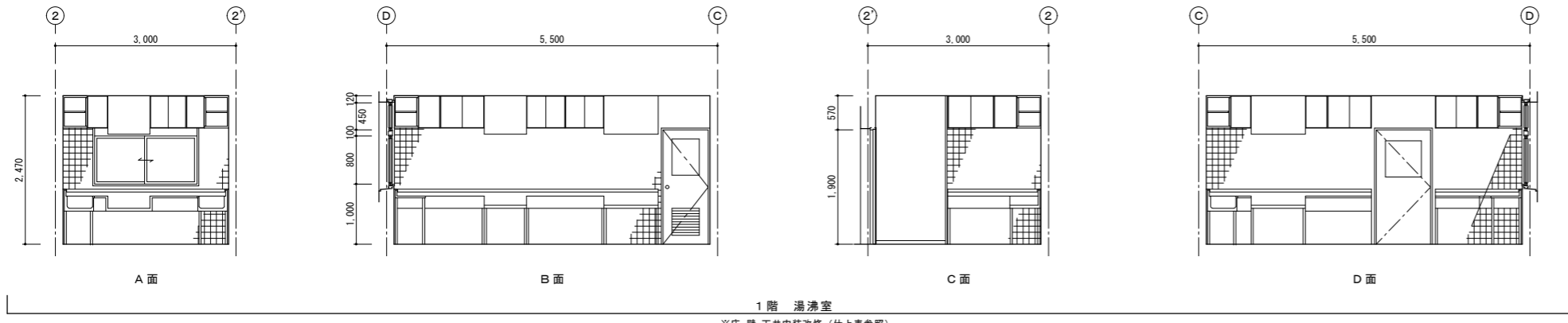
凡例							

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図	建築
福岡県田川市伊田4395番地		面1階天井伏図	1/50:1/100
熊平建築設計事務所	熊谷 平一	制作日	NO. 31
熊平建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県登録第1-30001号 一級建築士98619号		田川市大字伊田3501-3 電 0947-42-1090 熊谷 平一	

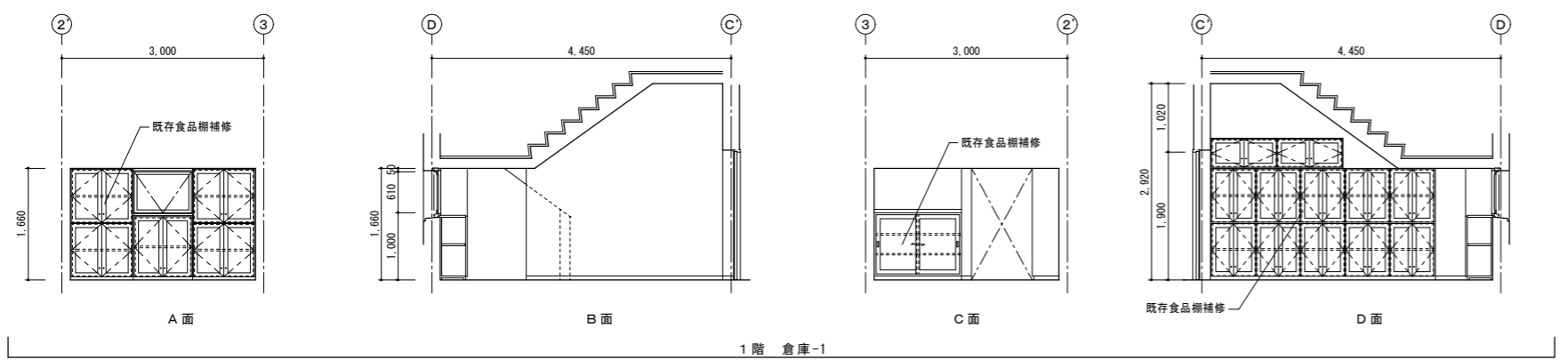




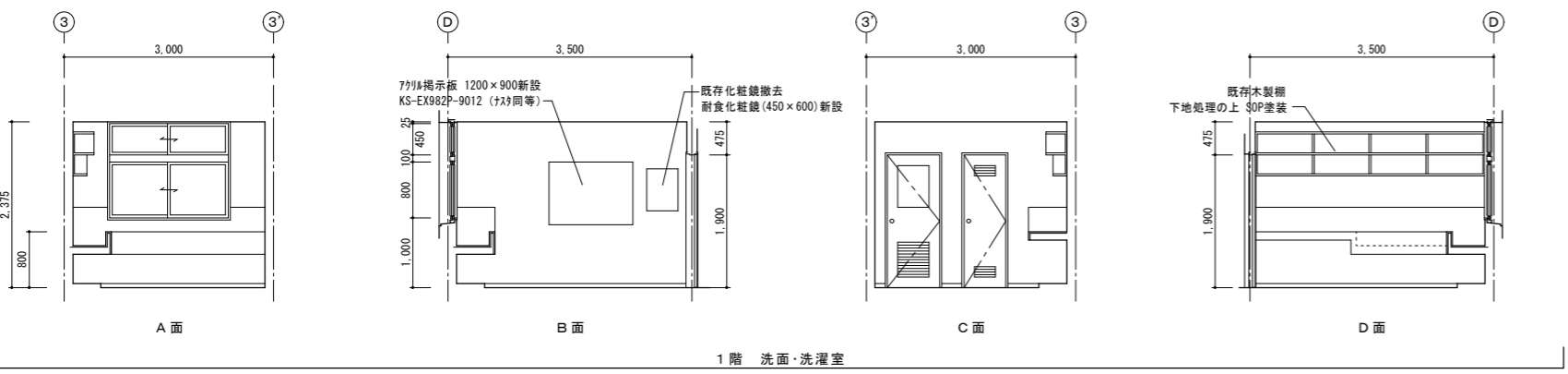




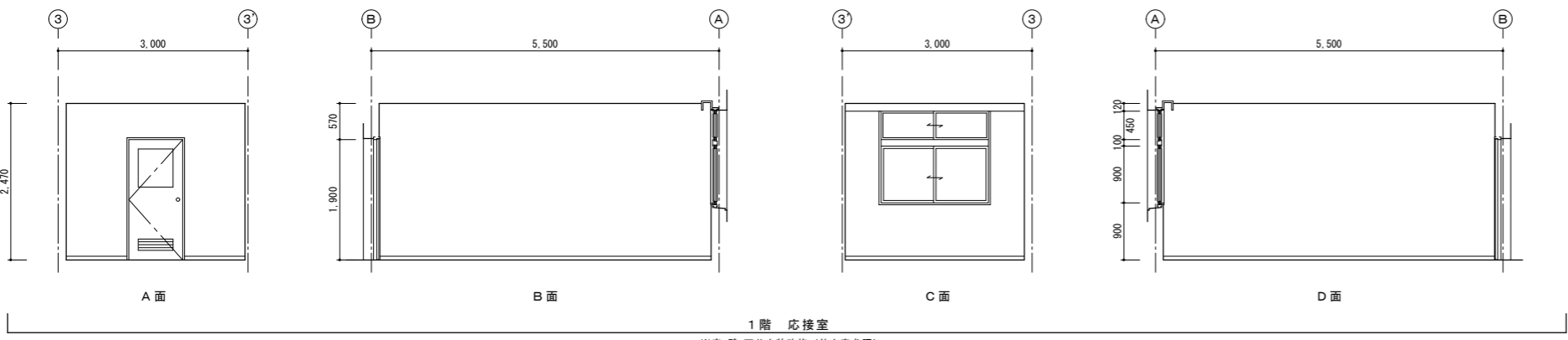
1階 湯沸室  
※床・壁・天井内装改修（仕上表参照）



1階 倉庫-1  
※床・壁・天井内装改修（仕上表参照）



1階 洗面・洗濯室  
※床・壁・天井内装改修（仕上表参照）

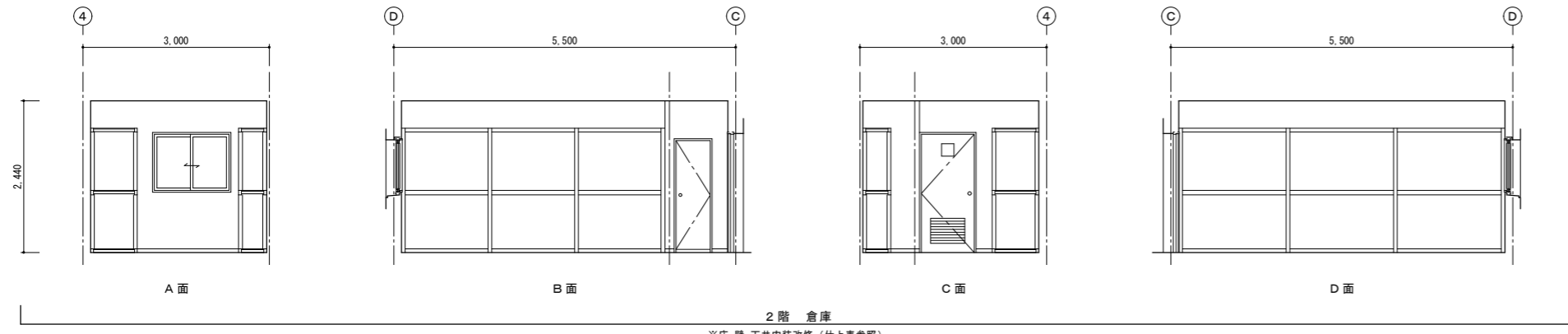


1階 応接室  
※床・壁・天井内装改修（仕上表参照）

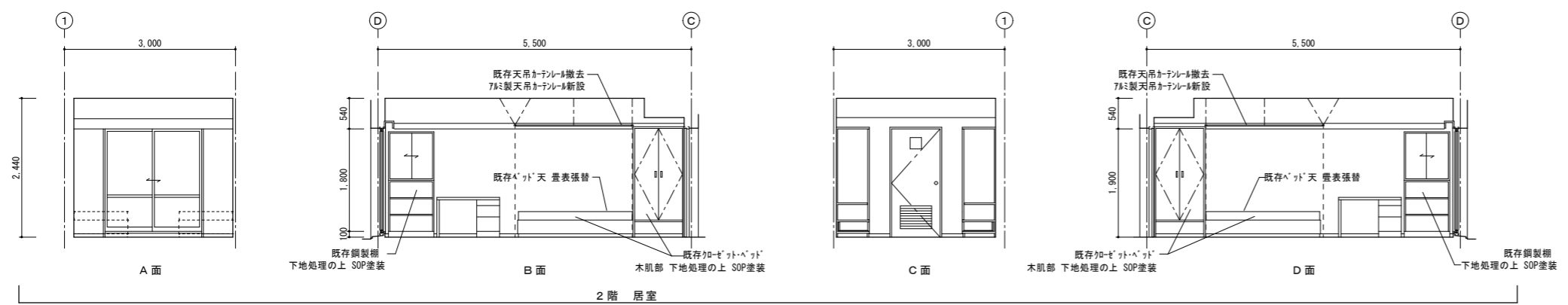

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図	第 A1-A3	建築
福岡県田川市伊田4395番地		面	1階展開図-2	A-20/全枚
縮尺	熊谷 興三	CAD	制作日	1/50:1/100
熊平建築設計事務所		熊平建築設計事務所 福岡県登録第1-30001号 一級建築士98619号		NO. 31
熊平建築設計事務所		田川市大字伊田3501-3 電 0947-42-1090 熊谷 平一郎		







2階 倉庫  
※床・壁・天井内装改修 (仕上表参照)



2階 居室  
※床・壁・天井内装改修 (仕上表参照)


福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図	縮尺 A1:A3	建築
福岡県田川市伊田4395番地		面 2階展開図-2	1/50:1/100	A-23 全枚
名称	熊平建築設計事務所	CAD	制作日	NO
熊平建築設計事務所 一級建築士事務所 福岡県登録第1-30001号 一級建築士98619号 熊平建築設計事務所 田川市大字伊田3501-3 電 0947-42-1090 熊谷 聖一郎		31		





符号・名称	AD1 両開き戸+欄間FIX	AD2 引違い戸+両袖FIX	AD3 欄間外倒し窓+片開きフラッシュ戸 (防火設備)	AD4 欄間外倒し窓+片開きフラッシュ戸 (防火設備)	AD5 片開きフラッシュ戸 (防火設備)		
形状・寸法							
箇所	玄関 (1F)	脱衣室 (1F)	廊下 (1F)	廊下 (2F)	廊下 (3F)		
数量	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所		
材種	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)		
見込	70	70	70	70	70		
ガラス	透明t=5	型板t=4	網入り型板t=6.8	網入り型板t=6.8	網入り型板t=6.8		
金物	707-ヒンジ、シフト-本締錠、押棒、ワシラ落、他付属金物一式	戸車、引手、他付属金物一式	ピボットヒンジ、シリリンダー錠、ドアチェック、他付属金物一式	ピボットヒンジ、シリリンダー錠、ドアチェック、他付属金物一式	ピボットヒンジ、シリリンダー錠、ドアチェック、7-スリット、他付属金物一式		
備考	上・下枠7&スリット付	上・下枠7&スリット付、下枠スリット	上・下枠7&スリット付、下枠スリット	上・下枠7&スリット付、下枠スリット	全周7&スリット付、下枠スリット		
符号・名称	AW1 引違い窓+欄間外倒し窓	AW1A 引違い窓+欄間外倒し窓	AW2 引違い窓+欄間外倒し窓	AW3 引違い窓+欄間外倒し窓	AW4 引違い窓+欄間引違い窓	AW5 引違い窓+欄間ガラリ	
形状・寸法							
箇所	食堂、談話室 (1F)	食堂、談話室 (1F)	湯沸室 (1F)	下足室 (1F)	応接室 (1F)	倉庫-2 (1F)	
数量	6か所	2か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
材種	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	
見込	70	70	70	70	70	70	
ガラス	透明t=5、食堂西側のみ熱線吸収ガラスt=5	透明t=5、食堂西側のみ熱線吸収ガラスt=5	型板t=4	透明t=5	透明t=5	型板t=4	
金物	クレント、スライド-付手動開放装置、他付属金物一式	クレント、スライド-付手動開放装置、他付属金物一式	クレント、スライド-付手動開放装置、他付属金物一式	クレント、スライド-付手動開放装置、他付属金物一式	クレント、他付属金物一式	クレント、他付属金物一式	
備考	全周7&スリット付	全周7&スリット付、7&格子付	全周7&スリット付、ファン取付付	全周7&スリット付	全周7&スリット付	全周7&スリット付	
符号・名称	AW6 引違い窓+欄間引違い窓	AW7 引違い窓+欄間引違い窓	AW8 可動ガラス出し窓	AW9 内倒し窓	AW10 引違い窓+欄間引違い窓	AW11 換気小窓付き引違い窓	
形状・寸法							
箇所	居室 (1F)	洗面・洗濯室 (1F)	倉庫-1 (1F)	女子便所 (1F)	脱衣室、浴室 (1F)	居室 (2,3F)	
数量	4か所	1か所	1か所	1か所	2か所	26か所	
材種	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	
見込	70	70	70	70	70	70	
ガラス	透明t=5	型板t=4	型板t=4	透明t=5	透明t=5	透明t=5、網入り透明t=6.8、西側のみ熱線吸収ガラスt=5	
金物	付クレント、他付属金物一式	クレント、他付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	クレント、他付属金物一式	クレント、旋錠付きガラス小窓、他付属金物一式	
備考	全周7&スリット付	全周7&スリット付、7&格子付	全周7&スリット付	全周7&スリット付、7&格子付	全周7&スリット付、7&格子付	全周7&スリット付	
符号・名称	AW12 引違い窓	AW13 引違い窓	AW14 内倒し窓	AW15 引違い窓	AW16 引違い窓+欄間外倒し窓	AW17 引違い窓+欄間引違い窓	
形状・寸法							
箇所	階段室 (2階)	洗面・洗濯室 (2,3F)	女子便所 (2,3F)	倉庫 (2,3F)	廊下 (2,3F)	階段 (3F)	
数量	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	1か所	
材種	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	
見込	70	70	70	70	70	70	
ガラス	型板t=4	型板t=4	型板t=4	透明t=5	透明t=5	型板t=4	
金物	クレント、他付属金物一式	クレント、他付属金物一式	付属金物一式	クレント、他付属金物一式	クレント、スライド-付手動開放装置、他付属金物一式	クレント、他付属金物一式	
備考	全周7&スリット付	全周7&スリット付	全周7&スリット付	全周7&スリット付	全周7&スリット付	全周7&スリット付	

凡例  
 : 表中色塗り部分は改修なし

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図名	建築
福岡県田川市伊田4395番地		図名	建具表-1
縮尺	1/50:1/100	縮尺	1/50:1/100
製図	CAD	制作日	
熊平建築設計事務所		熊平建築設計事務所	
福岡県田川市伊田3501-3 電話 0947-42-1090 熊谷 平一郎		福岡県田川市伊田3501-3 電話 0947-42-1090 熊谷 平一郎	

符号・名称	SD1 片開き戸 (特定防火設備)	SD2 片開き戸 (特定防火設備)	SD3 両開き戸	SD4 片開き戸 (特定防火設備)	SD5 片開き戸
形状・寸法					
箇所	廊下 (1F)	機械室 (1F)	機械室 (1F)	階段室 (2,3F)	屋上物干し場
数量	1か所	1か所	1か所	2か所	1か所
材種	スチール OP塗装	スチール OP塗装	スチール OP塗装	スチール OP塗装	スチール OP塗装
見込	195	145	125	195	
ガラス			網入り型板t=6.8		
金物	707-ヒンジ、ケースハンドル、煙感知器連動閉鎖装置、他付属金物一式	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ドアフィック、他付属金物一式	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ドアフィック、フラス落、可動式ハンドル、他付属金物一式	707-ヒンジ、ケースハンドル、煙感知器連動閉鎖装置、他付属金物一式	カンスキ
備考	スチール音響	スチール音響	スチール音響	スチール音響	
符号・名称	LD1 片開き戸 (防火設備)	LD2 片開き戸 (防火設備)	LD3 片開き戸 (防火設備)	LD4 片開き戸 (防火設備)	LD5 片開き戸 (防火設備)
形状・寸法					
箇所	居室 (1,2,3F)、倉庫-2 (1F)、倉庫 (2,3F)	応接室 (1F)	湯沸室 (1F)	倉庫-1 (1F)	洗面・洗濯 (1,2,3F)、女子便所 (2,3F)
数量	33か所	1か所	1か所	1か所	5か所
材種	スチール OP塗装	スチール OP塗装	スチール OP塗装	スチール OP塗装	スチール OP塗装
見込	145	145	145	145	145
ガラス	網入り型板t=6.8	網入り型板t=6.8	網入り型板t=6.8	網入り型板t=6.8	網入り型板t=6.8
金物	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ドアフィック、可動式ハンドル、他付属金物一式	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ドアフィック、可動式ハンドル、他付属金物一式	ビギットヒンジ、空錠、ドアフィック、可動式ハンドル、他付属金物一式	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ドアフィック、可動式ハンドル、他付属金物一式	ビギットヒンジ、空錠、ドアフィック、可動式ハンドル、他付属金物一式
備考	スチール音響	スチール音響	スチール音響	スチール音響	スチール音響
符号・名称	LD7 片開き戸 (防火設備)	LD8 片開き戸 (防火設備)			
形状・寸法					
箇所	PS (1,2,3F)	脱衣室 (1F)			
数量	3か所	1か所			
材種	スチール OP塗装	スチール OP塗装			
見込	145	145			
ガラス		網入り型板t=6.8			
金物	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ハンドル、他付属金物一式	ビギットヒンジ、シリンド-錠、ドアフィック、可動式ハンドル、他付属金物一式			
備考	スチール音響	スチール音響			
符号・名称	WD1 片開き戸	WD2 片開き戸	WD3 片開き戸	WD4 両開き戸+欄間FIX	WD5 片開き戸
形状・寸法					
箇所	女子便所 (1,2,3F)	倉庫 (2,3F)	女子便所 (2,3F)	食堂・納菜室 (1F)	湯沸室 (1F)
数量	8か所	2か所	2か所	1か所	1か所
材種	引合板t=5.57mm OP塗装	引合板t=5.57mm OP塗装	引合板t=5.57mm OP塗装	引合板t=5.57mm OP塗装	引合板t=5.57mm OP塗装
見込	36	36	36	36	36
ガラス				透明t=5	透明t=5
金物	5mmヒンジ、5mmヒンジ、表示錠、他付属金物一式	シリンド-錠、スチール下番、他付属金物一式	5mmヒンジ、5mmヒンジ、空錠、他付属金物一式	下番、ドアフィック、空錠、フラス落し、他付属金物一式	下番、ドアフィック、空錠、他付属金物一式
備考					

凡例	表中色塗り部分は改修なし
----	--------------

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図名	建築
福岡県田川市伊田4395番地		面	建築表-2
縮尺	1/50:1/100	輪	A1:A3
縮尺	1/50:1/100	尺	1/50:1/100
熊平建築設計事務所		NO	31

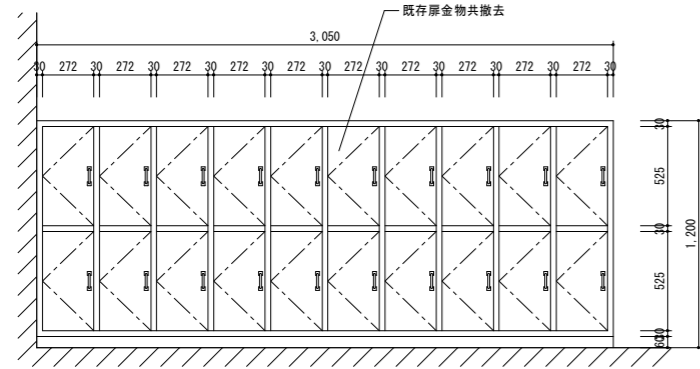
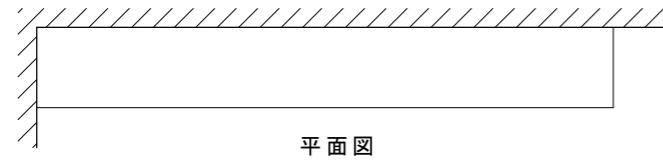
木製下足棚改造

S=1/20

室名サイン A (一般室名札)

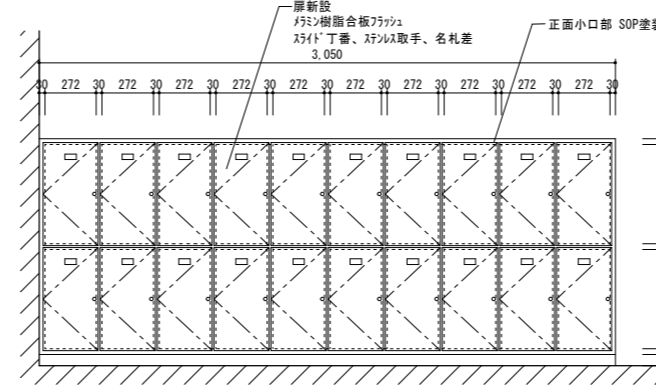
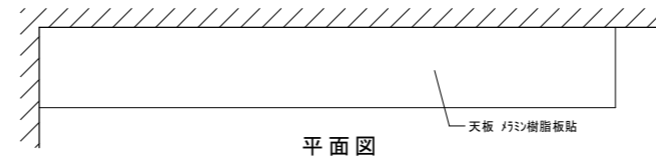
S=1/5

既存

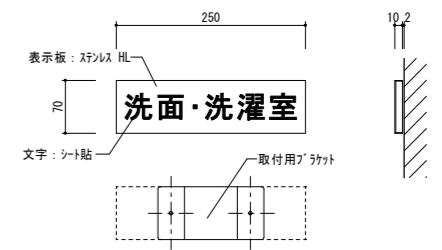


側面姿図

改修後



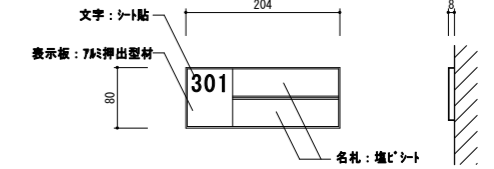
側面姿図



SK-605NS-1F (神楽ホムクリエイト同等)

室名サイン B (居室室名札)

S=1/5



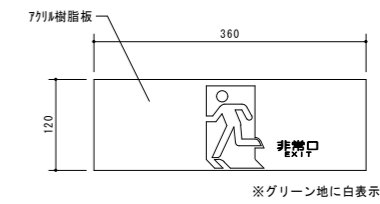
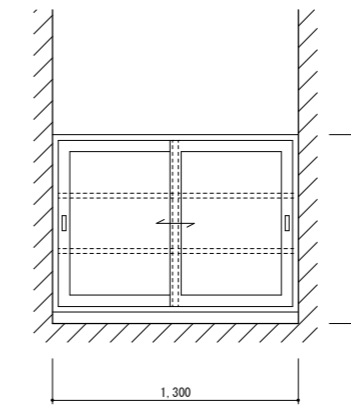
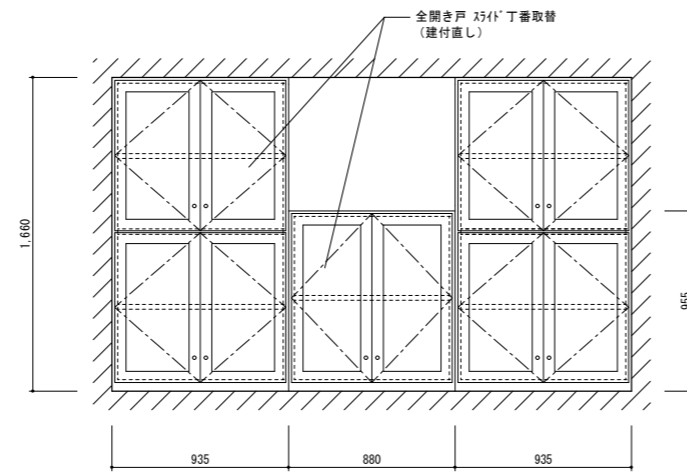
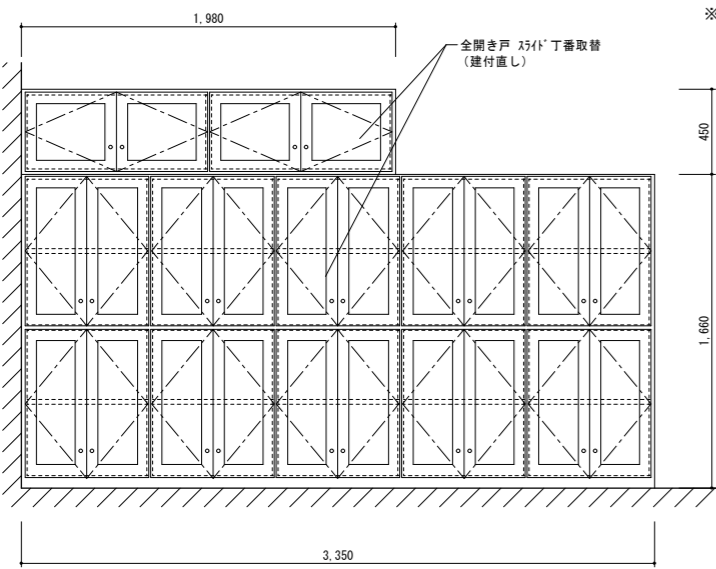
SN-A-2 (神楽ホムクリエイト同等)

木製食品棚補修

S=1/20

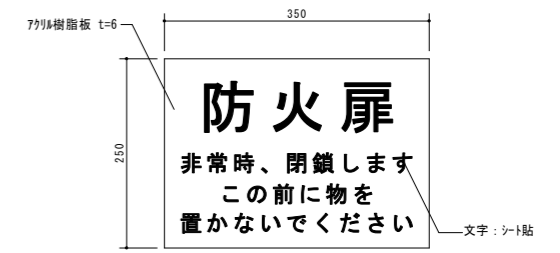
室名サイン C (誘導標識)

S=1/5



室名サイン D (防火扉注意書き)

S=1/5

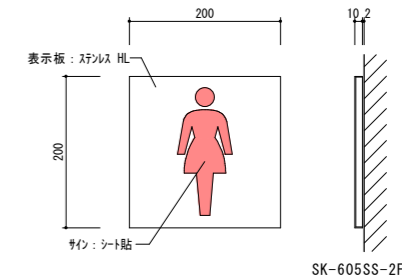
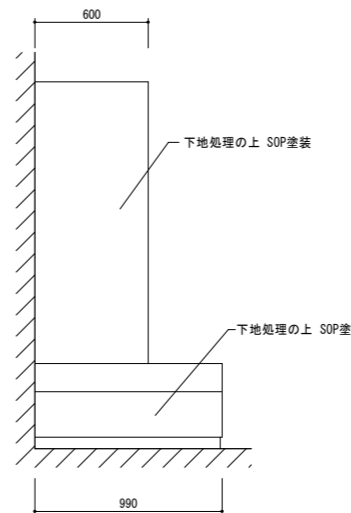
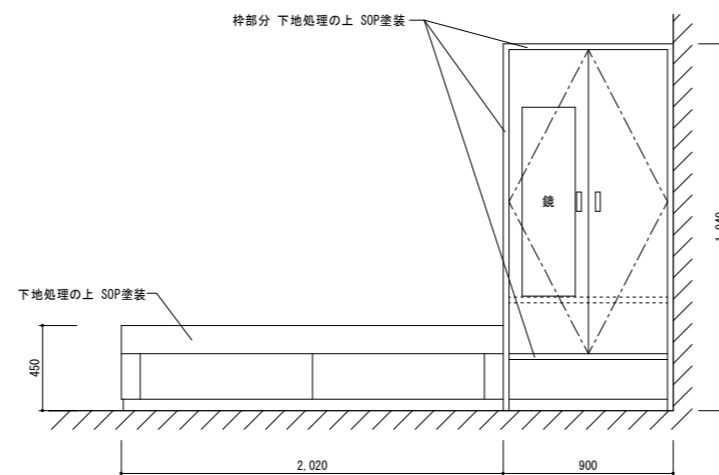
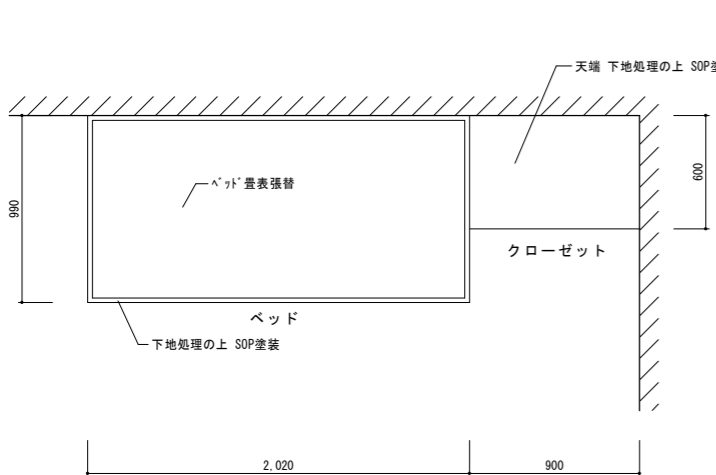


木製クローゼット・ベッド補修

S=1/20

室名サイン E (ピクトサイン)

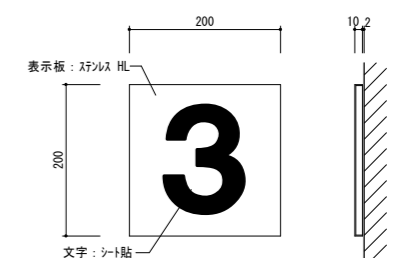
S=1/5



SK-605SS-2F (神楽ホムクリエイト同等)

室名サイン F (階数表示)

S=1/5



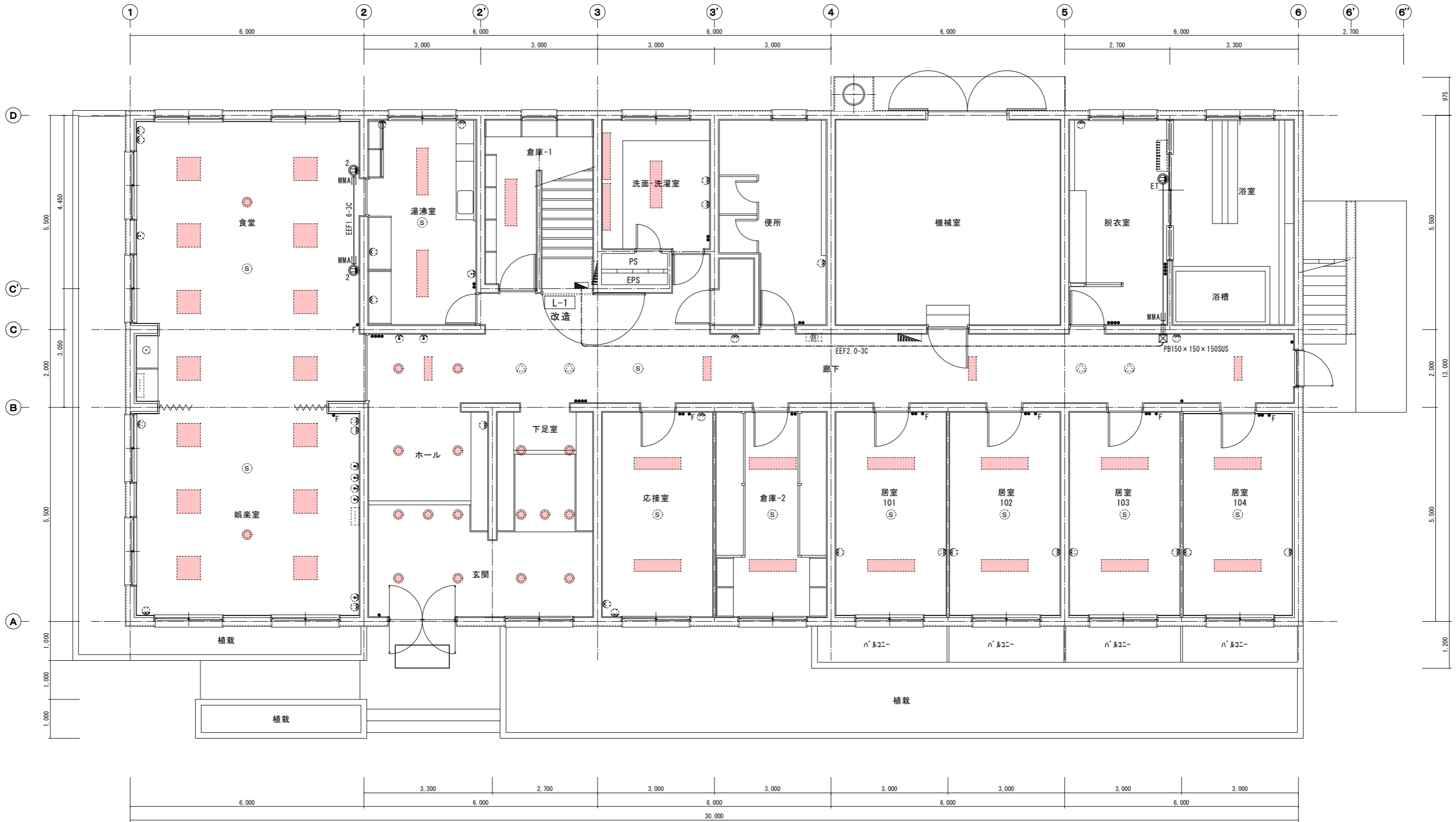
SK-605SS-2F (神楽ホムクリエイト同等)


福岡県立大学すずかけ寮改修工事	図	建築
福岡県田川市伊田	面	部分詳細図
縮尺: 1/20	名	A-28
縮尺: 1/40	尺	全枚
熊平建築設計事務所	NO	31

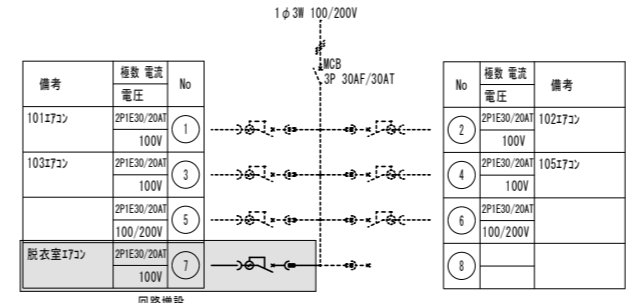






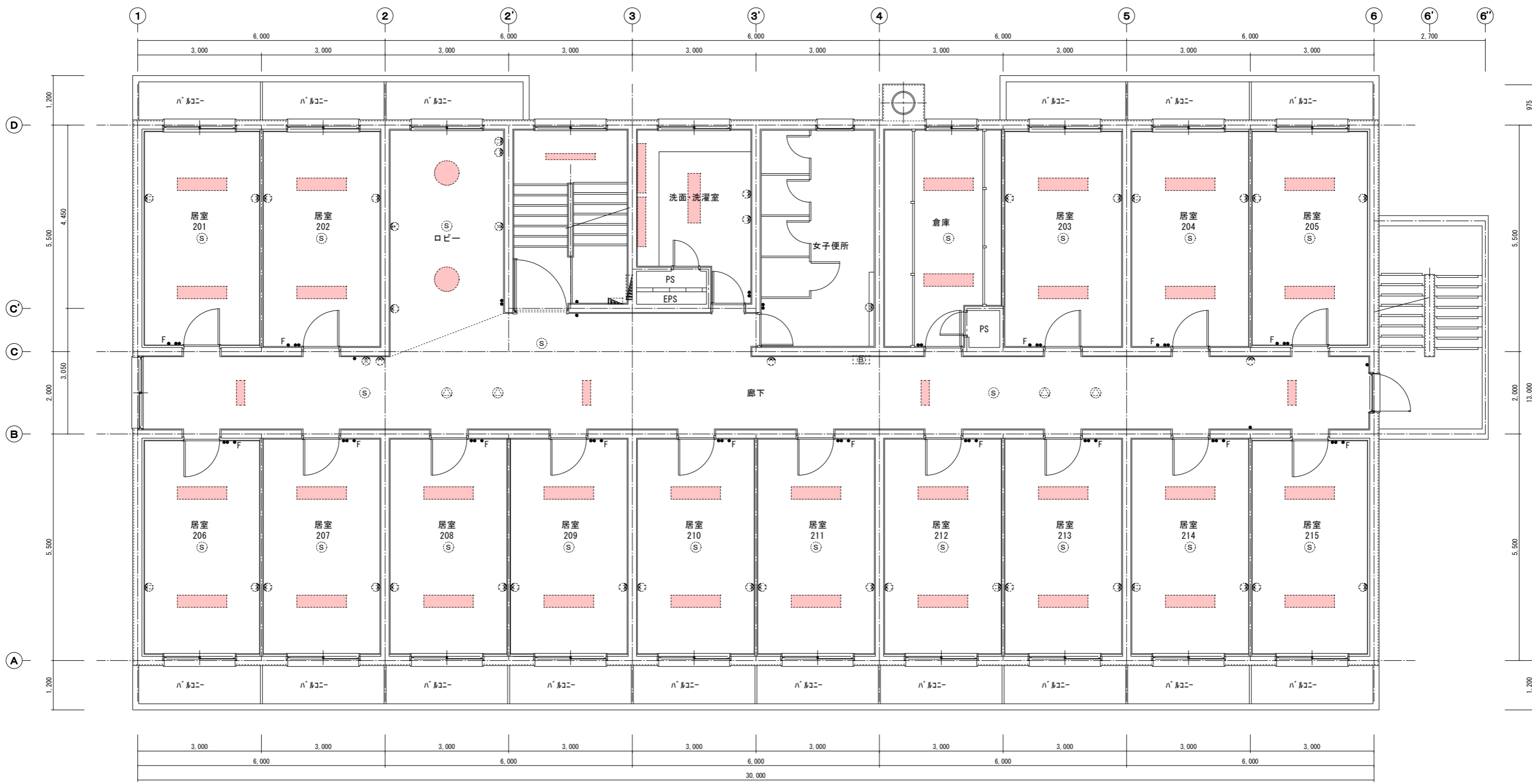


分電盤 L-1 改造



- 凡例
- : 既存分電盤改造
  - : 既存分電盤 (鋼製はSOP塗装)
  - : 既存端子盤 (鋼製はSOP塗装)
  - 2 : コンセント2P15A×2新設 樹脂プレート共
  - ET : コンセント2P15A×1 接地極付新設 樹脂プレート共
  - : 既存照明器具取外・再取付
  - : 既存コンセントプレート取替 (樹脂製)
  - : 既存スイッチ撤去、スイッチP15A×1新設 樹脂プレート共
  - : 既存スイッチ撤去、スイッチP15A×2新設 樹脂プレート共
  - : 既存スイッチ撤去、スイッチP15A×4新設 樹脂プレート共
  - F : 既存ファンコイル用スイッチ撤去後樹脂プレート塞ぎ
  - S : 既存自火報知器取外・再取付
  - : 既存スイッチ取外・再取付
  - : 既存弱電プレート取替 (樹脂プレート)
  - : 既存プラグプレート取替 (樹脂プレート)

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図	電 気
福岡県田川市伊田4395番地		面	電気設備 1階平面図
縮尺	1/50:1/100	名	E-01/全枚
製作者	熊平建築設計事務所	NO	03



凡例

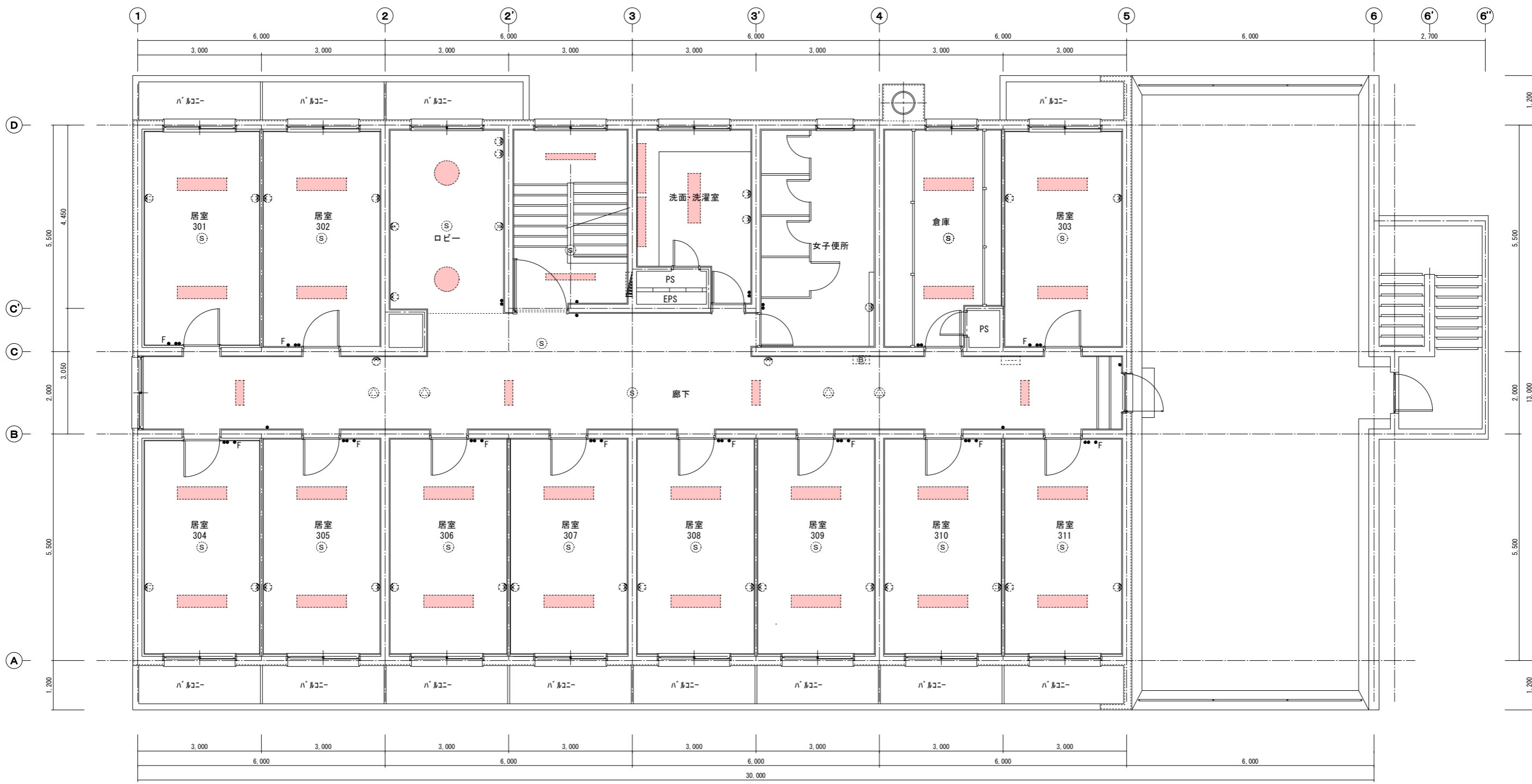
	既存分電盤改造
	既存分電盤 (銅製はSOP塗装)
	既存端子盤 (銅製はSOP塗装)
	コンセント2P15A x 2新設 樹脂プレート共
	コンセント1P15A x 1 接地極付新設 樹脂プレート共

	既存照明器具取外・再取付
	既存コンセントプレート取替 (樹脂製)
	既存スイッチ撤去、スイッチ1P15A x 1新設 樹脂プレート共
	既存スイッチ撤去、スイッチ2P15A x 2新設 樹脂プレート共
	既存スイッチ撤去、スイッチ4P15A x 4新設 樹脂プレート共

	既存ファンコイル用スイッチ撤去後樹脂プレート塞ぎ
	既存自火報知器取外・再取付
	既存スイッチ取外・再取付
	既存弱電プレート取替 (樹脂プレート)
	既存プラグプレート取替 (樹脂プレート)

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図	電 気
福岡県田川市伊田4395番地		面	電気設備 2階平面図
縮尺	1/50	名	E-02 全枚
製作者	熊平建築設計事務所	NO	03

熊平建築設計事務所 福岡県登録第1-30001号 一級建築士98619号  
 田川市大字伊田3501-3 電 0947-42-1090 熊谷 平一郎



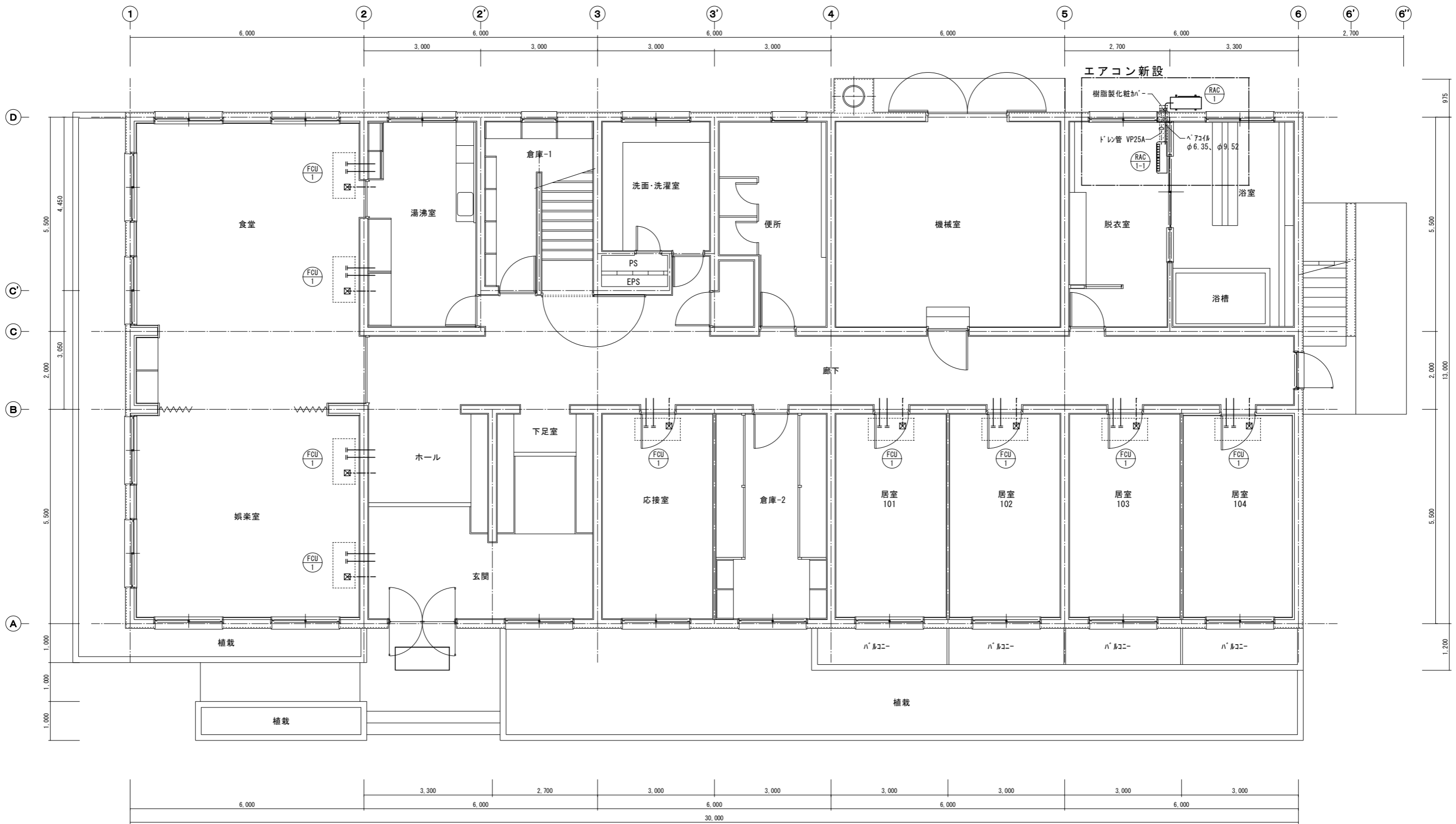
凡例

	既存分電盤改造
	既存分電盤 (銅製はSOP塗装)
	既存端子盤 (銅製はSOP塗装)
	コンセント2P15A x 2新設 樹脂プレート共
	コンセント2P15A x 1 接地極付新設 樹脂プレート共

	既存照明器具取外・再取付
	既存コンセントプレート取替 (樹脂製)
	既存スイッチ撤去、スイッチP15A x 1新設 樹脂プレート共
	既存スイッチ撤去、スイッチP15A x 2新設 樹脂プレート共
	既存スイッチ撤去、スイッチP15A x 4新設 樹脂プレート共

	既存ファンコイル用スイッチ撤去後樹脂プレート塞ぎ
	既存自火報感知器取外・再取付
	既存スイッチ取外・再取付
	既存弱電プレート取替 (樹脂プレート)
	既存プラグプレート取替 (樹脂プレート)

福岡県立大学すずかけ寮改修工事		図	第A1-A3	電気
福岡県田川市伊田4395番地		面	電気設備 3階平面図	
縮尺	1/50	制作日		E-03
熊平建築設計事務所		熊平建築設計事務所 福岡県登録第1-30001号 一級建築士98619号		NO. 03
熊平建築設計事務所		田川市大字伊田3501-3 電 0947-42-1090 熊谷 平一郎		



空調機器表

記号	名称	型式	定格能力			電源		消費電力		設置場所	台数	リモコン	備考	福岡県立大学すずかけ寮改修工事 福岡県田川市伊田4395番地 面 機械設備 1階平面図 縮尺 1/50:1/100 名	図 名 尺 NO	機 械 M-01 全枚
			冷房[kW]	暖房[kW]	風量[m3/h]	電圧[φ/V]	出力[kW]	冷房[kW]	暖房[kW]							
RAC-1	空冷ヒートポンプエアコン 室外機	ルームエアコン	3.6	4.2	—	1/100	—	1.16	1.17	屋外室外機置場	1	—	6.35φ/9.52φ	縮尺 1/50:1/100 名	NO	03
RAC-1-1	室内機	壁掛形	—	—	24.0	—	—	—	—	1F 脱衣室	1	1	—	縮尺 1/50:1/100 名	NO	03
FCU-1	ファンコイルユニット	天吊形	—	—	—	—	—	—	—	1F 食堂・娯楽室、応接室、居室、2・3F居室	35	—	機器撤去、冷温水配管が止り、電線・新設樹脂製が止り内止め	縮尺 1/50:1/100 名	NO	03



